



THE REPORT OF THE MIE DENTAL ASSOCIATION



◆第二次田所執行部始動

県歯常任委員会も一斉に初会合

◆平成27年度歯と口の健康週間

三重県審査の結果／郡市歯科医師会レポート

◆平成27年度歯科衛生士研修会

◆三重県警察歯科医会設立総会



三重県歯科医師会報



公益社団法人
三重県歯科医師会
<http://www.dental-mie.or.jp/>

2015



No. 675

会長就任にあたって（公益社団法人 三重県歯科医師会 会長 田所 泰）	1
平成27年度第4・5回理事会 （第二次田所執行部発足／会長が各事業について指示）	2
平成27年度歯と口の健康週間 三重県審査の結果	4
郡市会長メッセージ&歯と口の健康週間事業レポート	9
三重県警察歯科医会設立総会／三重県警察医研修会	21
平成27年度歯科衛生士研修会	22
平成27年度第3回理事会（日歯臨時時代議員会等について報告）	24
第8回定時代議員会 （保健衛生賞表彰／26年度決算と新役員を承認）	26
平成27年度第6回理事会 （協会けんぽと健康づくりのための協定調印へ）	28
県歯常任委員会、新メンバーを初招集	30
医療管理（美術品等が減価償却資産となるか否かの判定の改正について）	34
<hr/>	
6月・7月会務日誌	35
会員消息／新入会員プロフィール	36
障害者歯科センター診療状況	37
告知板 （・医科・歯科連携推進人材養成研修会の開催について ・日本口腔インプラント学会第36回中部支部・学術大会）	38
互助会の現況	40
平成27年2月・3月診療分歯科診療報酬状況	40
三重県歯科医師国民健康保険組合	42
三重県歯科医師協同組合	44
編集後記	45

会長就任にあたって

公益社団法人 三重県歯科医師会
会長 田所 泰



本年3月に会長予備選挙に立候補を決意し、6月の定時代議員会において、理事18名・監事2名とともに、各郡市歯科医師会から選出された代議員の承認を得て、新しい執行部に名を連ねることが決まりました。その執行部の中で代表理事、すなわち三重県歯科医師会会長という職務を再度与えていただきましたことは身に余る光栄と受け止めています。また、2期目ということもあり、過去2年間の経験を活かし、これまで以上に会務に全力を注ぎます。

近年、急激に少子高齢化する社会への対応が迫られており、特に、社会保障制度の体系が大きく変わろうとしています。医療分野も例外ではありません。「都道府県ごとに地域医療構想を策定し、療養病床の地域差の是正を着実にを行うとともに、医療・介護を通じた居宅での環境を整える。さらに、都市・地方それぞれの特性を踏まえ、在宅や介護施設等における看取りも含めて対応できる地域包括ケアシステムを構築する」。これが国の示している方針です。本会としては、今年度の事業計画で基本方針に掲げたように、地域包括ケアシステムの中で歯科医療が果たすべき役割を見定め、地域の特性も踏まえながら、柔軟かつ確に対応できる体制を整備するつもりです。このようなシステムの構築はいずれも個々の会員の倫理や使命感のみでは実現が困難なものです。三重県歯科医師会という組織に力を結集して解決していくことが求められており、そうした取り組みによって県民の歯科医療をしっかりと守っていくことこそが三重県歯科医師会に課せられた公益活動にほかなりません。また、このような事業に前向きに取り組むことが、会員の診療所の安定した経営基盤につながるものと信じています。

必要な歯科医療従事者の人材の確保・養成という視点から、各職種の資質向上のための研修事業及び良好な勤務環境の確保のための事業も重要視しています。保険診療に係る行政指導については全面的に会員を支援し、国保・社保両審査委員会において歯科医学的に適正な審査が行われるよう最大限の努力をします。また、大規模災害等への対応も含め、新たに設立した警察歯科医会との協力体制を構築します。

三重県歯科医師会の種々の事業の策定・実施に際しては、大前提があります。それは、民主的な運営を行うということです。民主主義の原則は多数決ですが、それは会員全てが種々の情報を共有し、それぞれの立場を踏まえた議論を尽くしたうえで行われるべきものだと考えます。そのために、執行部と会員との間に情報格差が生まれることがないように、『三歯会報』をはじめ、県歯公式ウェブサイトやメールマガジン等の媒体を通じて、可能な限りの情報提供をさせていただきます。郡市会長会議、代議員会においては活発な議論をお願いします。

浅学菲才な私ではありますが、全力を持って会務に取り組む所存です。どうぞ会員の皆様のご協力とご理解を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

平成27年度

第4・5回理事会

平成27年6月25日（木）、28日（日）

三重県歯科医師会館

第二次田所執行部発足／会長が各事業について指示

6月25日（木）、第8回定時代議員会が開かれ、先の役員選挙で当選が決まった理事18名及び監事2名が全員選任された。これを受けて代議員会終了後直ちに新執行部による最初の理事会が招集され、会長予備選挙当選者である田所 泰会長（伊勢）の再任を決定。中井孝佳副会長（尾鷲・再任）、大杉和司副会長（津・前常務理事）、早川豊治副会長（四日市・新任）、稲本良則専務理事（伊賀・前理事）らと新三役を構成する。羽根司人常務理事（鳥羽志摩）と太田賢志常務理事（津）はともに再任。また、橋本淳二理事（鈴鹿）、川瀬哲人理事（桑員）、山根 隆監事（四日市）が新たに執行部入りした。

6月28日（日）には第5回理事会が開かれ、田所会長が今期の会務執行に当たっての所信を表明。27年度の事業計画を確認しながら各事業について詳細な指示を与えるとともに、地域医療構想（ビジョン）策定のプロセスに的確に関与し、歯科医療の役割をしっかりと位置付けていくことが最重要課題であるとの認識を示した。また、理事会運営に当たっては、これまで以上に自由闊達な議論が交わされることに期待を寄せ、議事では三重県警察医の推薦と、三重県医療審議会をはじめとした関係機関等の役員について承認。稲本専務理事からは当面の会務スケジュールが示された。



6月25日（木）第4回理事会



新執行部の顔ぶれ

<上段左から> 熊谷理事・橋本理事・蛭川理事・川瀬理事・井上理事・浜瀬理事・伊東理事・
福森理事・前田理事・伊藤理事・桑名理事

<下段左から> 宮田監事・太田常務理事・稲本専務理事・大杉副会長・
田所会長・中井副会長・早川副会長・羽根常務理事・山根監事

役職	氏名	役職	氏名
会長	田所 泰 (伊勢)	理事	熊谷 涉 (伊勢)
副会長	中井 孝佳 (尾鷲)	理事	川瀬 哲人 (桑員)
副会長	大杉 和司 (津)	理事	蛭川 幸史 (桑員)
副会長	早川 豊治 (四日市)	理事	伊東 学 (四日市)
専務理事	稲本 良則 (伊賀)	理事	桑名 良尚 (津)
常務理事	羽根 司人 (鳥羽志摩)	理事	井上 博 (四日市)
常務理事	太田 賢志 (津)	理事	浜瀬 太郎 (松阪)
理事	福森 哲也 (津)	理事	伊藤 法彦 (松阪)
理事	前田 圭司 (津)	監事	山根 隆 (四日市)
理事	橋本 淳二 (鈴鹿)	監事	宮田 保 (桑員)



6月28日(日)第5回理事会

平成27年度 歯と口の健康週間 三重県審査の結果

親と子のよい歯のコンクール

最優秀	前村真唯	優 空	松 阪
優 秀	水越僚子	由芽子	桑 員
〃	伊藤はる香	結 翔	四日市
〃	三村志帆	泰 士	鈴 鹿
〃	森野知里	陽 葵	亀 山
〃	服部紀美世	美 宙	津
〃	稲垣喜大	雄 磨	伊 勢
〃	森貴紀子	茉維子	鳥羽志摩
〃	張山直果	和 奏	尾 鷲
〃	濱口あゆみ	樹 希	南 紀
〃	森 香奈絵	美の梨	伊 賀



よい歯の児童生徒 審査表彰

最優秀	青山颯太	松阪市立花岡小学校	松 阪
優 秀	藤田舞香	いなべ市立阿下喜小学校	桑 員
〃	樋浦朱峰	四日市市立羽津小学校	四日市
〃	今坂綾人	鈴鹿市立庄野小学校	鈴 鹿
〃	小林美玖	亀山市立昼生小学校	亀 山
〃	岡田 綾	津市立南が丘小学校	津
〃	井面大海	伊勢市立進修小学校	伊 勢
〃	前田日向	志摩市立磯部小学校	鳥羽志摩
〃	近藤摩侑	尾鷲市立賀田小学校	尾 鷲
〃	岡 大翔	紀宝町立鶴殿小学校	南 紀
〃	辻 桜花	伊賀市立上野東小学校	伊 賀



受賞の言葉：親と子のよい歯のコンクール最優秀

前村真唯さん・優空さん

朝7時半。「歯磨きするよ〜。」と隣近所に聞こえるほどの声で洗面所から私が子どもたちを呼び。我が家は共働きのため、朝は時間に追われ、つい大きな声になってしまう。4歳の長男は、歯磨きを嫌がったことがない。以前、「どうして歯を磨くの？」と聞かれたことがあるが、私が「歯磨きをしなかったら、夜寝ている間にバイ菌がお口の中でイタズラするんやで！」と説明したら、妙に納得した様子で、それからは自ら「歯磨きしたい」と言うようになった。長男とは反対に、次男は毎日嫌がりながらもなんとか歯磨きをしている。

子どもは歯磨きを嫌がるもの…、と歯科健診で言われたことがあるが、毎日の歯磨きの際はこちらにも一工夫が必要だ。子どもたちが大好きなアニメを見せたり、歌を歌ったりして、楽しく歯磨きできるようにしている。最初は子どもたちが自分で歯を磨き、その後私が念入りに仕上げ磨きをする。朝の忙しい時間にもかかわらず比較的丁寧に歯磨きをするのは、私の幼児期の体験がそうさせるのだと思う。私は現在の長男ぐらいの歳に、毎日大好きなジュースを飲んでいて、甘い物が好き、お菓子も好き…、でも歯磨きは嫌いだった。すると前歯2本に黒い模様ができる。むし歯だった。子どもながらも、鏡を見てはむし歯を確認し、深く落ち込んでいた。ニコツと笑うとむし歯が見えて、皆に「むし歯できてる！」と言われるのが

嫌でしょうがなかった。しかし、落ち込んだ私に嬉しい出来事があった。間もなく乳歯が抜けて新しい綺麗な歯が生えてきたのだ。歯が抜けた時は驚いたが、新しい歯が生えてきた時は心の底から嬉しかった。そのことを今でも鮮明に覚えている。私の子どもたちには同じ思いをさせたくないという強い気持ちが現在の行動に繋がっているのだと思う。

私が中学生の時、校内での「よい歯のコンクール」で入賞し、全校生徒の前で表彰された経験がある。これがきっかけで毎朝鏡を見ながら磨き残しがないか確認するのが日課になった。今はゆっくり歯磨きをする時間さえないが、短時間でも楽しく歯磨きすることはできる。また、私は必ず子どもたちと一緒に歯を磨く。子どもたちだけだと、磨き方が分からないから、私が見本となることで自然と歯磨きの仕方を学べるようにして、歯磨きの大切さを教えた。

今回、「親と子のよい歯のコンクール」で最優秀という素晴らしい成績を収めたことは、長男にとってこれから生きていくうえで誇り高いことであり、努力したことが糧になった一つのエピソードとしてしっかり胸に刻んで欲しい。

維持・継続することは非常に難しい。体型は維持できなくとも、綺麗な歯は維持できるよう、私も日々精進して頑張りたい。

親と子のよい歯のコンクール／よい歯の児童生徒審査表彰：審査委員

三重県健康福祉部医療対策局健康づくり課主幹
三重県教育委員会事務局保健体育課充指導主事
三重県歯科医師会副会長
三重県歯科医師会常務理事
三重県歯科医師会理事
三重県歯科医師会理事
三重県歯科医師会理事
三重県歯科医師会公衆衛生委員

石 濱 信 之
大 崎 志 保
中 井 孝 佳
羽 根 司 人
福 森 哲 也
橋 本 淳 二
伊 東 学

歯・口の健康に関する図画・ポスターコンクール

[幼稚園]



	最優秀	小倉 功大	津市立川合幼稚園 (5歳)	津
2位		早川 旺甫	松阪市立豊地幼稚園 (5歳)	松 阪
〃		明星 愛奈	私立和順幼稚園 (5歳)	伊 勢
3位		多田 琴音	四日市市立三重幼稚園 (5歳)	四日市
〃		大橋 一稀	亀山市立亀山幼稚園 (5歳)	亀 山
佳作		加藤 聖翔	私立マリア・モンテッソーリ幼稚園 (5歳)	桑 員
〃		荻原 希々	鈴鹿市立飯野幼稚園 (5歳)	鈴 鹿
〃		和田 竜一	熊野市立木本幼稚園 (5歳)	南 紀
〃		中嶋 心夏	私立梅が丘幼稚園 (6歳)	伊 賀

[小学校低学年]



	最優秀	田中 怜	伊勢市立宮山小学校 2年	伊 勢
2位		廣瀬 雄太	鈴鹿市立若松小学校 2年	鈴 鹿
〃		伊達 陽紀	亀山市立野登小学校 3年	亀 山
〃		仲濱 花音	伊賀市立依那古小学校 1年	伊 賀
3位		中野 凜杏	桑名市立大山田東小学校 2年	桑 員
〃		尾崎 凜	津市立栗葉小学校 3年	津
〃		出口 ひより	志摩市立志島小学校 2年	鳥羽志摩
佳作		若林 紗矢	四日市市立海蔵小学校 2年	四日市
〃		中西 隼都	松阪市立豊田小学校 2年	松 阪
〃		水口 侑大	紀北町立東小学校 3年	尾 鷲
〃		吉田 愛莉	熊野市立五郷小学校 2年	南 紀

[小学校高学年]



	最優秀	森 奏真	松阪市立德和小学校 4年	松 阪
2位		伊藤 萌々子	木曾岬町立木曾岬小学校 4年	桑 員
〃		飯田 珠菜	朝日町立朝日小学校 5年	四日市
〃		川上 千穂	亀山市立井田川小学校 6年	亀 山
3位		清水 佐保	鈴鹿市立椿小学校 5年	鈴 鹿
〃		加藤 琴	紀北町立志子小学校 5年	尾 鷲
〃		水瀧 岳大	名張市立桔梗が丘小学校 5年	伊 賀
佳作		大野 世楽	津市立大三小学校 4年	津
〃		山下 海厘	伊勢市立有緝小学校 4年	伊 勢
〃		松井 大亜	鳥羽市立弘道小学校 6年	鳥羽志摩
〃		岩口 尚樹	熊野市立金山小学校 5年	南 紀

[中学校]



最優秀	伊藤乃愛	尾鷲市立尾鷲中学校 3年	尾鷲
2位	後藤瑞希	鈴鹿市立白子中学校 3年	鈴鹿
〃	戸谷有里	熊野市立木本中学校 3年	南紀
3位	山本愛子	桑名市立陵成中学校 2年	桑員
〃	坂穂澄	亀山市立関中学校 3年	亀山
佳作	脇谷紗菜厘	四日市市立三重平中学校 3年	四日市
〃	飯柴果厘	松阪市立嬉野中学校 3年	松阪
〃	奥山満月	伊勢市立宮川中学校 2年	伊勢
〃	永井あさ	伊賀市立緑ヶ丘中学校 2年	伊賀

[特別支援学級・学校]



最優秀	麻生和哉	亀山市立亀山西小学校 3年	亀山
2位	達知朋希	津市立大里小学校 1年	津
〃	安池万雅	三重県立城山特別支援学校 草の実分校 小学部 1年	
3位	尾崎洋介	四日市市立海蔵小学校 2年	四日市
〃	中村優斗	尾鷲市立宮之上小学校 1年	尾鷲
佳作	岡ひなた	伊勢市立明野小学校 2年	伊勢
〃	前田育実	名張市立桔梗が丘東小学校 4年	伊賀

[高等学校]

最優秀	該当なし		
佳作	武友秀太郎	県立あけぼの学園高等学校 2年	

審査講評

松阪市立殿町中学校校長・瀬古久美子

園児・児童・生徒に歯と口の健康に対する正しい知識と歯科疾患の予防に関する適切な習慣の定着を図るために取り組まれている当コンクールに、今年度も県下の幼稚園から高等学校までの作品8,551点の応募がありました。歯や口の健康について考え、新たな気づきや伝えたいことを表現した多くの作品を前に、一人ひとりの思いや工夫・個性を大切に審査を行いました。

幼稚園の作品は、口を大きく開けた顔が園児ら

しく伸び伸びと描かれ、明るい配色で楽しい雰囲気作品です。最優秀の小倉さんの作品は、画面いっぱいに描かれた口の中を上歯と下歯を意識して描き、一生懸命歯磨きをする表情にも工夫があります。パスと絵の具の使い方が効果的で配色のバランスも良く、動きのある楽しい作品に仕上がっています。2位・3位の作品も歯ブラシを持つ手に力がこもり、歯を大切にしたいという思いが伝わってきます。表情に個性があり背景も工

夫された作品でした。

小学校低学年の作品は、一面に大きく口を開けて歯磨きをしている顔を表現した作品が多く見られます。最優秀の田中さんの作品は、淡く美しい色彩と工夫した塗り方で表情豊かな作品に仕上がっています。歯ブラシと手はコラーージュし、指の動きも意識しています。しっかりと描いた髪の毛の表現も効果的です。2位・3位の作品も顔の配置や口の開け方を工夫して、しっかりと観察して描いたことが伝わってきます。

小学校高学年になると図画とポスターの両方があり、さまざまな視点で考えた個性的な作品が揃っていました。最優秀の森さんの作品は、インパクトが強く、丁寧に描かれた歯や口の中、そして泡の表現などに工夫が見られます。配色は健康的なピンクの唇とトーンを合わせて美しく仕上げられています。2位・3位の作品は、自分の伝えたい言葉と絵の構成を工夫し、明るく健康的な色彩の作品です。2位の飯田さんの作品は、根気よく制作されたちぎり絵の美しい作品でした。

中学校の作品は、ポスターとしての要素を満たしたアイデアと表現力の高さを感じる作品が多

かったです。最優秀の伊藤さんの作品は、力強いコピーと丁寧な描写、清潔感のある配色でまとめられた歯・口の健康を訴える素晴らしい仕上がりのポスターです。2位・3位の作品もアイデアや描写の技術も高く、作者の意気込みが伝わる力作でした。3位の坂さんの作品「一緒に長生き」の寄り添う歯の表情は、ほのぼのとした温かさを感じます。

特別支援学級・学校の作品は、どれも歯ブラシの動かし方を工夫して、丁寧に歯磨きをする様子がしっかりと描かれていました。最優秀の麻生さんの作品は、口の中をよく見て、歯を1本1本丁寧に描き、きれいな色使いで仕上げられています。2位・3位の作品も力強くパスで描いたり、配色を工夫したりと歯磨きの大切さをしっかりと伝えようとした作品でした。

高等学校の作品は、応募点数が少なく、3位までに入る作品はありませんでした。

これからも「歯と口の健康」を呼びかけるアイデア豊かな作品の制作や発表を通して、「歯と口の健康」を守る運動が一層広がることを願って講評とします。

歯・口の健康に関する図画・ポスターコンクール審査委員

松阪市立殿町中学校校長
伊勢市立神社小学校校長
三重県教育委員会事務局保健体育課主幹
三重県歯科医師会常務理事
三重県歯科医師会理事
三重県歯科医師会理事
三重県歯科医師会理事

瀬古久美子
野垣内 宗
藪 中 一 浩
羽 根 司 人
福 森 哲 也
橋 本 淳 二
伊 東 学



平成27年度

郡市会長メッセージ& 歯と口の健康週間事業レポート

平成27年度の『歯と口の健康週間』は6月4日(木)から10日(水)まで、「おくりたい 未来の自分に
きれいな歯」の標語のもと、「生きる力を支える歯科口腔保健の推進／～生涯を通じた8020運動の新た
な展開～」を重点目標に実施され、三重県下でも様々に工夫を凝らした歯と口の健康に関する啓発イベン
トが催された。

また、県下11の郡市歯科医師会では、県歯と同様に7月から新執行部がスタートを切っている。新た
な2年間、郡市会の舵取りを担う各会長からのメッセージも併せてお読みいただきたい。



県下11郡市会の会長

- <後列左から> 北川会長（鈴鹿）・村田会長（伊賀）・星野会長（桑員）・
永田会長（四日市）・山本会長（鳥羽志摩）・長井会長（松阪）
- <前列左から> 前田会長（津）・生川会長（亀山）・加藤会長（尾鷲）・
田口会長（伊勢）・斎藤会長（南紀）

一般社団法人

桑員歯科医師会



会長
星野良行

県の最北端に位置する桑員歯科医師会は、桑名市・いなべ市・員弁郡・桑名郡をエリアとしており、現在88名の会員で構成され、歯科医療を中心に歯科保健、公衆衛生活動を通して地域住民の方の歯と口の健康づくりを目指して活動しています。

現在、日本においては急速に少子高齢化が進んでおり、人口が減少しています。当地域においても同じ現象がみられ、2025年には75歳以上の人口が2010年に比べ1.6倍になると予測されています。この2025年問題の克服を目指した地域包括ケアシステムに対応するには、歯科医師として在宅医療・介護現場で多職種の方と連携することが必要となってきます。そのためにも窓口となる口腔ケアステーションの設立に向けて、その環境を整備していくことが急務となります。地域災害対策・来院型各種検診等を含めて行政・関係団体と積極的に連携協議していくつもりです。

地域のニーズに応え、いつまでも「口から食べられる」という喜びが得られるように検診や啓発事業等を行い、市民のQOLの向上・健康寿命の延伸に貢献できる歯科医師会でありたいと思います。

Event Report



6月4日(木)、桑名市民会館小ホールで桑員地区平成27年度「歯と口の健康週間事業」の最終審査と表彰式が行われました。「よい歯の児童生徒」には小学生が41校から42名、中学生が12校から13名、「親と子のよい歯のコンクール」には、2市2町から34組が審査に参加しました。

最終審査に進んだ対象者の口腔内は例年同様、いずれも順位をつけがたく、審査を担当した会員は何度も対象者の口腔内を見比べながら、優秀者の審査に当たりました。

「歯・口の健康に関する図画・ポスターコンクール」では幼稚園の部からの応募が3園9名あった他、小学校低学年から15校64名、高学年から4校12名、中学校から4校11名、特別支援学級・小学校から3校4名の出展がありました。どの作品も個性豊かな力作揃いでした。図画は色彩豊かで生き生きとした作品、ポスターでは独創的なデザイン、構図の作品が選ばれました。

表彰式では主催者を代表して星野良行会長が挨拶。桑名市教育委員会の近藤久郎教育長の祝辞に続いて行われた藤田豪俊副会長からの講評では、う蝕について解説したスライドが供覧され、参加者たちが興味深そうに見入っていました。また、日展会友・杉田幸平氏からは図画・ポスターの講評に加え歯磨きマジックが披露されました。最後に星野会長より優秀者の方々に表彰状とトロフィー・賞品の贈呈が行われ、受賞したそれぞれの方のさわやかな笑顔が印象的でした。

(取材：鶴飼 伸)

一般社団法人

四日市歯科医師会

会長
永田健一

四日市歯科医師会では、この1年間で継承権の廃止、終身会員の年齢の引上げ、会費免除規則の制定に取り組んだ他、入会金等の段階的な引下げにより入会者が増え、会員数は153名になりました。

今年2月、安倍首相は施政方針演説の中で「全ての女性が活躍できる社会を創る」ことを成長戦略の中核に位置付け、「2020年にはあらゆる分野で指導的地位の3割以上が女性となる社会を目指す」と表明しました。6月には女性活躍推進法が成立し、国と自治体、民間企業に女性の採用率や女性の管理職比率等のうちから、いずれかで独自の目標設定を義務付け、情報の公開方針等を含めた行動計画を作るように定められました。日本歯科医師会でも平成23年度に「男女共同参画推進検討委員会」が設置され、男女共同参画の推進に取り組み始めたことは皆さんもご承知のことと存じます。四日市歯科医師会においてもこの方針に沿う形で、今回の執行部には15名の理事のうち3名の女性理事に就任していただくことになりました。まだ全体の20%ではありますが、今まで完全に男社会であった理事会に女性の視点が加わることで、本会事業の新たな展開につながることを期待しています。

Event Report



歯と口の健康週間事業として、四日市歯科医師会では恒例の『よい歯のコンクール』が行われました。

「親と子のよい歯のコンクール」は公募による9組の親子から、「よい歯の児童生徒」は四日市市及び三重郡の各学校から小学校6年生47名、中学校3年生28名を対象に審査しました。また、「歯・口の健康に関する図画・ポスターコンクール」は小学校低学年の部65点(21校)、小学校高学年の部69点(20校)、中学校の部11点(7校)、幼稚

園の部18点(8園)、特別支援学級・小学校の部9点(6校)の中から歯科保健の啓発にふさわしい作品を選出しました。

表彰式は6月5日(金)、四日市市総合会館で行われ、最優秀賞・優秀賞がそれぞれ授与されました。また、歯科保健活動に永年貢献された四日市市市立中部中学校・渡邊邦子養護教諭と菰野町立八風中学校・横山悦子養護教諭に四日市歯科医師会から口腔衛生賞が贈られました。この日の審査・表彰の様子は中日新聞、地元CTVテレビ「ケーブルNEWS」等により取材・報道されました。

また、図画・ポスターコンクールの応募作品は5月28日(木)～6月4日(木)の期間、四日市市総合会館の1階ロビーに展示され、大勢の市民が数々の力作を楽しんでいました。なお、最優秀作品は来年度の「歯と口の健康週間」、「さわやか歯科検診」のポスターに起用される予定です。

(取材：伊藤 誠)

一般社団法人

鈴鹿歯科医師会

会長
北川弘二

超高齢社会を迎え、国を挙げて地域医療構想が叫ばれています。鈴鹿市においても、病院完結型の医療から、地域において途切れのない医療を提供するため、在宅医療や介護施設との連携強化が進められています。具体的には医師や歯科医師の他、介護支援専門員や栄養士、行政等、11の職種の代表が、鈴鹿市地域包括在宅医療ケアシステム運営会議や鈴鹿市地域ケア圏域会議で一堂に会して、医療の提供方法を協議しています。一方、周術期の口腔ケアの大切さも認知されるようになり、地域の中核的の病院である鈴鹿中央総合病院では今年度より初めて歯科衛生士が雇用されました。このように歯科医療も診療室で患者さんを待つ時代ではなく、歯科医師自身が積極的に外に出て歯科医療を提供することが求められています。現在、鈴鹿歯科医師会では介護認定審査会の13の合議体に審査委員を選出する他、高齢者のための介護予防事業を行っています。さらに在宅診療においては歯科医師会を窓口として在宅歯科診療の依頼に対応しています。今後は今回設置した地域口腔ケアステーションを活用し、病院や在宅・施設等で療養されている患者さんに対する歯科医療の提供を積極的に進めたいと考えています。

Event Report



6月4日(木)、鈴鹿市保健センターで、鈴鹿歯科医師会の最大の年次行事である「歯と口の健康週間事業」が開かれました。今回も鈴鹿市健康づくり課、鈴鹿市学校教育課、三重県歯科衛生士会鈴鹿・亀山支部や歯科業者の方々の協力と支援を受けての開催でした。

内容は、▽よい歯の児童生徒▽歯・口の健康に関する図画・ポスターコンクール▽いい歯の8020コンクール▽お口の健康チェックや保健指導▽鈴鹿歯科医師会員による歯科相談・歯科健診一等。

「よい歯の児童生徒」の表彰式には、鈴鹿市長だけでなく、鈴鹿市マスコットキャラクター「ベルディ」が来場。子どもたちだけでなく、大人も一緒に笑顔で記念写真を撮っていました。

「いい歯の8020コンクール」は例年多数の参加希望をいただき、今年からは60名の参加応募者の中から33名の方を選考し、当日にコンクールを行いました。お口の健康チェックコーナーは、毎年少しずつ内容を刷新しており、今年は新しいコーナーとして、デンタルフロスの使用法の説明を行いました。また、歯科衛生士の業務に興味を持っていただく目的で、来場者を対象に、指の印象採得・石膏模型の作製を実施しました。毎年多くの方が歯科相談・歯科健診を希望され、今年は、249名の口腔内を診査しました。今回は晴天に恵まれたこともあり、来場者は約300名に及び、大盛況のうちに終了することができました。

(取材：呉山章浩)

一般社団法人

亀山歯科医師会



会長
生川克弥

本年度から亀山歯科医師会会長に就任しました生川克弥と申します。どうぞよろしくお願い申し上げます。

亀山歯科医師会においては何と言ってもマンパワーが少ないゆえに、会員の役職兼務も多岐にわたります。負担も大きいですが、それぞれの会務スキルは高いものがあると信じています。一方で、関係行政部門や亀山医師会との繋がりも強く、こうした特徴を生かすことで、昨今議論されている地域医療の見直しや啓発、歯科保健活動にさらに寄与できるものと確信しています。また、近々に予想されている南海トラフ地震による災害に際しては、内陸に位置する亀山が重要な拠点となることを想定した備えをしておかなければなりません。そうした状況も踏まえ、コ・デンタルスタッフの確保、教育等についても関係機関とより一層、緊密な協力関係を築きながら、鋭意進めていきたいと考えています。会員の団結をさらに強めて会務に励みたいと思います。

Event Report



今年度の「歯と口の健康週間事業」は、6月4日(木)、亀山市総合保健福祉センター及び健康づくり関センターで、会員・スタッフと市の担当職員、職場体験の生徒さんたちと協力し、「親と子のよい歯のコンクール」「フッ素塗布・無料歯科健診・よろず歯科相談」の内容で開催しました。

「フッ素塗布・無料歯科健診・よろず歯科相談」では、午前9時～10時30分までに亀山地区136名、関地区32名の市民が参加しました。

フッ素塗布だけでなく、参加者の半数近くの方が歯科健診も受けられ、歯科相談では、歯磨き方法や歯並び、日常での予防法等、様々な相談にお答えしました。また、幼児コーナーでは歯科衛生士が主体となり、マット上で保護者の方々に誤嚥防止や仕上げ磨きについて指導。フッ素塗布を併せて行ったため、泣き出すお子さんが少なかったようでした。

「親と子のよい歯のコンクール」では、対象者から選ばれた8組の最終審査を行い、最優秀者を決定。例年同様、伊勢新聞・ZTV等による取材の中、表彰式と記念撮影が行われました。参加された保護者の方々からは、「今後もむし歯ができないようにしっかり磨こう！」といった声が多く聞かれ、生涯充実した健康な生活を送っていただくためにも、歯の衛生・歯科疾患の予防の重要性を実感していただく機会となったようです。

(取材：山田敏彦)

公益社団法人

津歯科医師会

会長
前田和賢

引き続き2期目の執行部を預かることになりました。部署の入れ替えはありましたが、監事合わせて17名、1期目と同じメンバーでの船出になります。ここ数年、入会ラッシュで161名の大所帯となった本会は現在、60歳未満の86名の会員が8つの委員会に所属し、精力的に委員会活動に取り組んでいます。地域では在宅医療を中心とした多職種地域連携が進み、看護協会を含む四師会、各種介護福祉職の方とも顔の見える関係が築かれつつあります。口腔ケア、訪問歯科治療に関する講演会の依頼も増え、地域医療連携に関するパネルディスカッションにも歯科医療を重要なものと位置付けたうえで、お声が掛かるようになりました。医療介護職の中で健康寿命の延伸に歯科が果たす役割についての認識が広がり、期待が高まってきていることが、多くの事業を通して実感されます。その期待にしっかりと応えていくことができる歯科医師会でありたいと考えています。同時に、こうした事業が、個々に診療所を構える会員に支えられていることをよく認識し、本業を圧迫することのないように事業のバランスを考え、会務の舵取りをしていきたいと思えます。

Event Report



6月7日(日)、今年で27回目となる「歯の健康展」が津リージョンプラザで開かれました。「親と子のよい歯のコンクール」をはじめ、「よい歯の児童生徒」「8020運動」「歯・口の健康に関する図画・ポスター」等の審査は滞りなく進行し、午後の表彰式では、前葉市長と田矢津市議会議長から入賞者に温かな祝辞をいただきました。本会の前田会長からは、図画・ポスターのコンクールに1,400名もの応募があったことに感謝の意を示すとともに、一般市民にも浸透した8020運動に加え、

今後は「オーラルフレイル」を予防することが重要であるとお話しました。

津歯会からは会員70数名が参加し、歯科相談や口腔がん検診、歯科健診等を実施。歯科技工士会コーナーでは、石膏模型の色塗り体験が子どもたちに人気で84名が来場。歯科衛生士会が担当した口腔衛生指導には338名、公衆衛生学院によるフッ化物塗布には113名が訪れる盛況ぶりは例年同様で、現役の、そして未来の歯科衛生士たちの生き生きとした活躍ぶりが大変印象的でした。デンタルファミリー以外の展示も多彩で、津市中央保健センターによる「歯の健康のため禁煙を！」と訴えたパネルシアターや、「血液サラサラチェック」「栄養相談」にも多くの市民が集まりました。

歯科医療専門職だけでなく関連多職種の協力を得てのイベントですが、こうした機会を地域での連携にもつなげていきたいと思えます。

(取材：森本浩生)

一般社団法人

松阪地区歯科医師会

会長
長井雅彦

松阪地区歯科医師会会長の長井雅彦です。6月11日の総会で新役員が選任され、直後の理事会で会長に選ばれました。4期目の就任となります。よろしくお願いいたします。当会は松阪市・多気郡の歯科医師114名で構成され、日頃から公衆衛生活動に力を入れています。近年、特筆すべきこととして、当地区の自治体で相次いで歯と口腔に関する条例が制定されたことが挙げられます。昨年4月には県下で初めて明和町で、次いで今年の4月に松阪市と大台町でそれぞれ条例が施行され、多気町でも取り組みが進んでいます。平成元年から毎年開催してきた「歯の健康まつり」は市民に根付いた行事となっており、こうした活動が条例制定の後押しをしてくれました（このイベントも今年から条例に合わせて「歯と口腔の健康まつり」に名称を変更しています）。これからは条例に裏付けられた事業が行えることを心強く感じています。今後も当会事業の三本の柱、▽フッ化物推進事業▽訪問歯科診療▽口腔ケアステーションをこれまでどおり、いやこれまで以上に進めていきます。また、会員の結束が固い会の伝統を受け継ぎ、若手から終身会員の大先輩まで一致団結して会を運営していこうと考えています。

Event Report



6月7日(日)、松阪市クラギ文化ホール等を会場として、第27回「歯と口腔の健康まつり」が開催されました。この事業は平成元年から歯科医師会の会員と松阪市・各協力団体との共催で行われており、年々内容は充実してきています。今年も3月下旬から入念に準備を進め、この日に備えてきました。

午前中は70歳以上のよい歯自慢としての「歯っぴいライフコンクール」、幼稚園・小学校・中学校の「よい歯のコンクール」最終審査が行われま

した。「歯っぴいライフコンクール」では40名近くがお元気に参加され、歯科医師会の会員と同じお弁当を召し上がっていただきました。歯が全て残っている方ばかりなので何でも食べられます。

午後12時10分にオープニングセレモニーが開会。共催の松阪市を代表して山中市長が、来賓として田村前厚生労働大臣や議会関係者が列席されました。それぞれ祝辞を頂戴した後、表彰式に移り、午前中の審査で選ばれた児童・生徒等に表彰状と記念品が手渡されました。午後1時30分からは各コーナーがスタート。今回は特にフッ化物洗口コーナーを充実させ、沢山の希望者にフッ化物洗口・塗布を体験していただきました。また、今年三重大学のジャグリングサークルを迎え、3回にわたり披露された大道芸が大好評でした。午後3時30分からは締め括りの大抽選会が行われ、盛会裏にイベントを終了することができました。

(取材：北野 晋)

一般社団法人

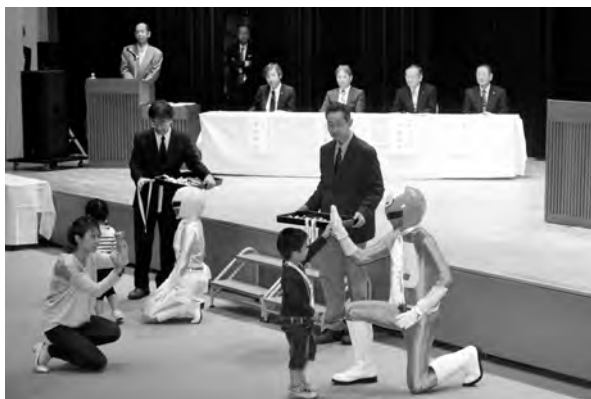
伊勢地区歯科医師会

会長
田口 昇

この度、伊勢地区歯科医師会の会長に就任しました田口 昇です。どうぞよろしくお願いいたします。

伊勢地区は伊勢市・玉城町・度会町・南伊勢町・大紀町の111名の会員で構成されています。本会は来年3月で支部合併10周年を迎え、合併時の一番大きな目標であった歯周疾患検診・妊婦歯科健診・高齢者口腔総合健診等を、行政機関と連携し、1市4町で均等に実施されるように歯科保健事業とともに推進しています。また、口腔がん検診事業と併催して市民啓発事業に力を入れています。その他、地域住民のみならず、伊勢志摩地域の観光客も対象にした歯科休日応急診療所を、会員の協力を得て運営しています。今後、前執行部の課題であった地域包括ケアシステムへの対応、地域口腔ケアステーション設置等を含め、地域住民が当会に何を求め、当会が何をしていくべきなのか調査し参画していきます。また、会員診療所への受診率の向上と公益事業の両立を考えながら地域住民の歯と口腔の健康づくりに励んでまいります。

Event Report



今年の「歯と口の健康週間事業」も、何とか天候に恵まれ(?)、曇り空の下で行われました。昨年の反省を踏まえ、行政と教育委員会に受付の体制を再検討してもらったおかげで、今年は大きな混乱はありませんでした。毎年、「歯と口の健康週間事業」の後には反省会を行っていますが、こうした振り返りが無駄ではないことが実感できました。

運営体制が実行委員会主導から各委員会主導に

切り替わって2年目になる今年は、各審査等も余裕を持って行うことができ、時間配分等にも気を遣っていただけました。ただ、今年は例年になく会員の欠席が多く、参加した会員や歯科衛生士会の方々に負担をかけてしまったことが残念でした。また、今回は小林先生に初めて司会をお願いしました。依頼するのは簡単ですが、当然ながら頼まれた方は大変です。数週間前から原稿を作り、さらに何度も何度も見直しをされていました。その甲斐あって、初めてとは思えない見事な司会をしていただきました。本当にお疲れ様でした。

表彰式終了後には、受賞された方々の写真撮影が行われましたが、中でも「親と子のよい歯のコンクール」で表彰された親子の笑顔が非常に印象的でした。こうした大きなイベントは、主催者側としていろいろとストレスを感じることもありますが、あの笑顔に今年も救われた気がします。

(取材：井上 理)

一般社団法人

鳥羽志摩歯科医師会

会長
山本 修

今期でいよいよ会長として4期目を務めさせていただくこととなりました。長きにわたってこの職務を遂行できるのも、ひとえに会員の皆様のご理解とご協力の賜物と感謝しています。これまでの経験を踏まえながら、今後も会員にとっても地域の住民にとってもより充実した歯科医師会となるような活動に努めていきたいと考えています。また、自分に対してはマンネリ化にならないように気分を一新して初心を忘れないように心掛けていきたいと思えます。

少子高齢化によって、医療福祉の費用はますます増大し、その財源の不足は今後もますます深刻になることが予想されます。また、人口減少による地方の崩壊も絵空事ではなくなってくるでしょう。このような厳しい状況の中でも、昨年は後期高齢者の歯科健診、本年は地域口腔ケアステーション設備整備事業等、会員の皆さんにとって少しでもプラスになるような事業を三重県歯科医師会が中心となって進めておりますので、私たちは地域の歯科医師会として日歯・県歯と連携しながら会員の環境の改善と地域歯科保健の向上のために努めていきたいと思えます。

Event Report



6月7日(日)、志摩市生涯学習センターにおいて「お口の健康祭り」「よい歯のコンクール表彰式」が行われました。当日は天候にも恵まれて市内からたくさんの親子が参加。歯科医師会及び行政の周知活動の甲斐もあって来場者は昨年続き300名に迫る盛況となりました。「よい歯のコンクール」「歯・口の健康に関する図画・ポスターコンクール(展示・表彰)」の他、無料のフッ化物塗布や歯科矯正相談をはじめ、歯科衛生士による紙芝居、保健師による内臓脂肪測定、健康相談、

歯に関するクイズ、石膏模型を使ったお絵かき等、お口の健康に関する楽しいイベントが盛りだくさん。子どもたちはもちろん高齢の方にも好評を博しました。

本事業は志摩市、鳥羽市の教育長を来賓として迎え、歯科衛生士会及び歯科技工士会、市職員、教育委員会等の協力を得て毎年回を追うごとに充実してきています。「よい歯のコンクール」では先立って行われた一次審査を通過した親子・小学生・中学生の中から選考委員の厳正な審査の結果、それぞれの部門で最優秀賞、優秀賞には表彰が行われました。受賞者の方々の誇らしげな表情に、関係者一同思わず笑顔があふれました。

当コンクールの内容は鳥羽市、志摩市の広報にも掲載される予定です。歯と口腔の健康に対する関心は年々高まりを見せており、市民に対する貴重な啓発活動の場として今後もより一層充実させていきたいものです。

(取材：山口達也)

一般社団法人

尾鷲歯科医師会

会長
加藤久善

会長として2期目を迎え、ますます責任の重さを実感しています。前期から引き継いでいる地域口腔ケアステーション設立の件、フッ化物洗口、成人歯周病検診等といった多世代にわたる口腔衛生活動、さらに大規模災害時の対策等、多くの課題が控えています。

これらに対処するに当たり、既に行政や歯科衛生士会とは多くの活動をともにし、会合も頻繁に行っていますが、特に高齢化の著しい当地域では、医師会や薬剤師会をはじめ地域諸団体等と積極的に会合し、連携をより一層強める必要があります。会員の絶対数が少なく、実質的な活動が可能なメンバーとなるとさらに限られている当会においては、理事だけでなく多くの会員がいくつもの役職を兼務し会務を担っているのが現状ですが、会員全員が安心して歯科診療、歯科公衆衛生活動を行っていただけるよう取り組んでいきたいと考えています。

Event Report



「歯とお口の健康週間」に合わせ、6月4日(木)に「親と子のよい歯のコンクール」、6月11日(木)には「よい歯の児童生徒」について、それぞれ最終審査と表彰式が行われました。

「親と子のよい歯のコンクール」では、平成26年度の3歳児歯科健診を受診した子どもたち93名から診査票を元選ばれた親子を対象に地区審査を行い、張山直果さん・和奏ちゃん親子が最優秀賞に、東都加沙さん・結斗君親子が優秀賞に選ば

れました。「よい歯の児童生徒」については、小学校12校、中学校6校での一次審査で選ばれた代表が地区審査に臨み、以下の児童・生徒が選ばれました。▽小学校の部／最優秀賞：近藤摩侑さん(賀田小)、優秀賞：宮地那宜さん(西小)・浜田悠成君(相賀小)▽中学校の部／最優秀賞：楠 悠佐さん(尾鷲中)、優秀賞：堀内俊駿矢君(赤羽中)。

最終選考に臨んだ子どもたちは、皆甲乙つけがたく、審査委員は何度も口腔内を確認して受賞者を決定しました。発表に先立って八原副会長から審査のポイントを説明するとともに、「これからもきれいで健康な歯と口腔を保つために、しっかりケアを行って欲しい」とお話ししました。

また、5月29日(金)～6月9日(火)までの期間には、「歯・口の健康に関する図画・ポスターコンクール」で選ばれた作品が海山公民館において展示されました。

(取材：東 千尋)

一般社団法人

南紀歯科医師会

会長
齋藤鉄郎

熊野市・御浜町・紀宝町の3市町23名の会員からなる本会で、2期目の会長職を拝命しました。どうぞよろしくお願いいたします。

今年度は管内全ての保育所・幼稚園に加え、モデル校2校とはいえ小学校でのフッ化物洗口が始まりました。う蝕予防という面では画期的なことです。今後はフッ化物洗口をさらに広めつつ、学校任せになってしまっている歯科保健指導全般に、歯科医師会がより深く関わっていけるよう取り組みたいと考えています。

また、高速道路が開通したとはいえ、この地域は山間部・海岸部に集落が散在し、高齢化率30～40%という超高齢地域でもあります。地域口腔ケアステーションを窓口、従来からの訪問診療と口腔ケアを充実させ、また歯科医療サービス自体が受けにくい交通弱者への対応も模索しながら、会員はもとより、歯科衛生士会や行政、関係機関、各事業所等と協力して地域包括ケアシステムの中での健康な「食」の維持増進に貢献したいと考えています。

Event Report



6月4日(木)、熊野市文化交流センターで「よい歯の児童生徒」と「歯・口の健康に関する図画・ポスターコンクール」の審査が行われました。午前中、美術教諭等学校関係者により図画・ポスターの審査が行われ、幼稚園10点、小学校125点、中学校13点の力作の中から地区代表作品を選出、また各賞を受けた作品は、同センターロビーで1週間一般展示されました。午後の「よい歯の児童生徒」には紀南地方の小・中学校から選ばれた児童8名と生徒5名が参加。歯科医師会3名による

審査の結果、鶴殿小の岡大翔君、相野谷中の清水翔太君が最優秀に選ばれました。齋藤会長は「この20年間で全国の12歳児1人平均う歯数が4本から1本に減少しているのに、この地域ではそのレベルまで至っていません。未来の自分にきれいな歯が最後まで残っているかどうかは、自分自身の努力にかかっています」と挨拶。前川専務理事は「皆さんの口の中が素晴らしく、審査が大変でした。賞に入れなかった人も胸を張って母校に戻り、お手本となって頑張ってください」と講評しました。

また同日、熊野市保健福祉センターで「親と子のよい歯のコンクール」も開催。11組の中から地区代表に濱口あゆみさん・樹希君親子が選ばれました。この両審査の様子は地元紙や各学校のWebサイトでも取り上げられ、「歯と口の健康週間」の周知に役立っていました。

(取材：中本雅規)

一般社団法人

伊賀歯科医師会

会長
村田省三

伊賀歯科医師会会長に再任されました村田省三です。

平素は、当会活動に格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。2期目に入りましたが、初心を忘れず、誠実に職務を一つずつこなしていく所存です。

伊賀、名張両市会員73名で構成される伊賀歯科医師会では、地域によるニーズの違い等も考慮に入れながら地域口腔保健活動を実施してきましたが、超高齢社会の到来とともに、地域住民の健康格差は拡大傾向となっています。また、疾病構造の変化により、私たちの活動も、これまでのような歯科医師会単独では対応できない課題が増えています。これからは、関係多職種との連携を深めなければ、第2クールの「健康日本21」に掲げられた「健康寿命の延伸や健康格差の縮小」という目標の実現に向けた活動はできません。

微力ではありますが、会員一同異業種の方々とも十分に連携を取りながら頑張っていきますので、今後ともよろしくご指導の程お願い申し上げます。

Event Report



6月7日(日)、ハイトピア伊賀で平成27年度「歯と口の健康週間事業」として、「よい歯のコンクール」を行いました。開会式典では伊賀歯科医師会・村田会長に続き、伊賀市・岡本 栄市長からも挨拶があり、「親と子のよい歯のコンクール」には10組の親子が、「よい歯の児童生徒」審査には小学生36名、中学生15名が参加しました。

会場では例年通り、無料歯科健診・相談、指型採得の模擬体験を行った他、審査後の待ち時間を利用して、「災害時の口腔ケア」「外傷時の対処

と題した歯科医師講話を開催。講話を聴いた市民からは「水が使えないと歯磨きは大変そうだな」「歯が抜けたら牛乳につけたらいいんだ！」等という感想が聞かれました。

表彰式では、「親と子」「児童生徒」とともに、「歯・口の健康に関する図画・ポスターコンクール」の最優秀表彰(5点)も併せて行われました。会場ではその他にも歯科衛生士会による口腔ケアグッズの紹介、歯科技工士会による歯科模型・補綴物の展示、ギャラリースペースでの「食育」「外傷の対応」「歯周病について」等のパネル展示を行いました。

今年は天候に恵まれたこともあり多くの市民が集い、行政からは市長や教育長、健康福祉部長らが参加、伊賀歯科医師会、歯科衛生士会、歯科技工士会からも多数の会員の協力を得て、盛況のうちに終了することができました。

(取材：井上健三)

三重県警察歯科医会設立総会／三重県警察医研修会

平成27年7月26日（日） プラザ洞津



7月26日(日)、三重県警察歯科医会が新たに発足した。三重県では昭和61年に医科と歯科の警察医が合同で「三重県警察医会」を設立し、長年にわたり研鑽を重ねてきたが、今年3月末を以て会自体は“発展的解散”となった。これを受けて三重県歯では、遺体の身元確認で警察に協力する警察医を中心とした会を新たに立ち上げることとし、津市内で設立総会が開かれた。冒頭、三重県警・森元本部長と三重県歯・田所会長が来賓として挨拶。田所会長は日航機事故を契機として活動が始まった「三重県警察医会」の歴史を振り返ったうえで、「東日本大震災の経験を踏まえ、予想される南海トラフ地震に備えるためにも、今後は医科と歯科が連携を保ちつつ、それぞれの専門性を活かしていきたい」と、新しい警察歯科医会が目指す方向性を示し、警察歯科医会を中心に法歯学研修の充実を図ることや大規模災害に対応するための郡市歯科医師会単位での体制整備をこれからの課題と位置付けた。議事では、会の名称を「三重県警察歯科医会」とし、三重県警から警察医として囑託を受けた歯科医師（43名）を個人会員、三重県歯を法人会員として会を組織すること等を定めた会則を決議。続いて理事8名と監事2名を選任後直ちに第1回の理事会を開き、辻 哲氏(桑員

／前三重県歯副会長)を会長に、中井孝佳氏(尾鷲／現三重県歯副会長)を副会長に選出した。その後、辻会長の進行の下で▽27年度会費▽同事業計画▽同歳入歳出予算一等を決定。三重県警・森元本部長と三重県歯・田所会長が顧問を、三重県警本部の濱口刑事部長ら4名に、長年にわたり三重県警察医会で歯科医師としての中心的な役割を果たしてきた陣田清士氏(四日市)を加えた5名が参与を委嘱された。

また同日、三重県警の主催、三重県医師会と三重県歯科医師会の共催による「三重県警察医研修会」が開かれた。「三重県警察医会」は解散となったが、ともに活動してきた歴史を活かし、医科・歯科合同での研修会は継続することとしたもの。新たな体制の下での最初の研修会となったこの日は、三重県警本部・濱口刑事部長、三重県医師会・青木会長、三重県歯科医師会・田所会長がそれぞれ挨拶に立ち、今後も緊密な連携の下で身元確認や大規模災害への対応に当たっていく姿勢を示した。研修では、まず三重県警・刑事部捜査第一課の宮崎由司上席検視官が「三重県における死体取扱状況」と題して講演し、死体取扱数の推移や死亡種別、身元不明死体の判明手段等についてのデータを報告した。特別講演では香川大学医学部人間社会環境医学講座法医学の木下博之教授が「香川県における高齢者の剖検例の検討」と題して、剖検から見た高齢者事例を紹介・分析した。65歳以上の高齢者の割合が25.9%（26年集計）という超高齢社会である日本では、独居高齢者のいわゆる「孤独死」等、検視の必要な異状死が増加しており、死因究明が難しい事例も少なくないとのこと。「多死社会」に向かう中、ここにも大きな課題があることが示される研修会となった。

平成27年度 歯科衛生士研修会

平成27年6月21日（日）

三重県歯科医師会館

6月21日（日）、平成27年度歯科衛生士研修会が開かれ県下の歯科衛生士145名が受講した。今年で4年目となる本研修会、今回は（株）エターナルスマイルの内田佳代氏による「歯科衛生士が行う口腔内外からアプローチするマッサージ方法」と題した講演。内田氏は口腔内外の筋肉に対するマッサージには咀嚼筋・表情筋の解剖学的知識が大前提になるとしたうえで、ガムマッサージ及び口腔内外の筋肉マッサージについて解説・実習を行った。ドライマウス患者に対するマッサージによるアプローチ、顔面エクササイズや顎関節症患者へのアプローチについても説明があり、高齢者を含めた幅広い患者に応用できるものが紹介された。

内田氏は口腔内外の筋肉に対するマッサージには咀嚼筋・表情筋の解剖学的知識が大前提になるとしたうえで、ガムマッサージ及び口腔内外の筋肉マッサージについて講義。さらに動画による解説と相互実習が行われた。

前半の講義ではまず、咀嚼筋・表情筋の起始・停止及び作用や支配神経について解説。次いで受講者自身に下顎を動かしたり、顔面で表情を作らせたりして、その際の筋肉の動きを確認する時間を設けることで、解剖学的な知見を実感として理解するよう指導。その後、マッサージの基本の動きとして、ガムマッサージ3種類（ストローク、プッシュ、スパイラル）と、口腔内マッサージ3種類（ストップ&リリース、ストレッチ、クロスストレッチ）を紹介。それぞれについて二人一組になって実習を行った。マッサージのポイントは、患者の筋肉の状態に合わせて、基本の動きを組み合わせて行い、全身マッサージと同じように“こり”を見つけてそこにアプローチすること。筋肉の状態は一人ひとり異なるため、手技の順番や行う回数をアレンジすることも大切とのことだった。

続いてエクササイズについても講義と実習が行われた。エクササイズとしてはポッピングと「舌グルグルエクササイズ」が紹介された。ポッピングは舌の筋肉を鍛えるとともに、唾液の分泌を促

すエクササイズのこと。「舌グルグルエクササイズ」は舌を歯ぐきと唇の間に入れてぐるりと一周回し、一周したら反対に回す運動のこと（一周8秒かけて行う）。

その他、各論としてドライマウスの方へのアプローチ（上下頬側歯肉をマッサージし唾液腺の刺激、筋肉運動を促し代謝を向上させる）、顎関節症の方へのアプローチ（咬筋、側頭筋に対するマッサージにより顎関節症の改善を図る）についても説明があった。

今回の研修会は従来の歯科衛生士業務とは少し離れた内容ではあったが、講義の後、動画を見てすぐ実習という実践的な構成で、受講者たちは積極的に取り組んでいた。いわゆるエステ感覚の内容ではなく、ドライマウス患者に対するアプローチや顎関節症患者へのアプローチについても説明があり、高齢者を含めた幅広い患者に応用できるテクニックが紹介された。これらにより病状が改善するとまでは言えないが、少しでもつらい症状を緩和させる手立てとして身に付けておくことは患者との信頼関係を構築することに役立つだろう。歯科医師よりも患者に近い立ち位置を取りやすい歯科衛生士のツールの一つとして活用されることを期待したい。

（理事・伊藤法彦 記）

受講者体験記

奥野李那さん（桑員）

今回の講師である内田佳代先生は、一目拝見したところ、とても素敵な笑顔の方という印象を受けました。ミスユニバースの地方大会候補者へ笑顔の指導や、ハリウッド女優の菊池凜子さんへも施術をしてみると聞いてとても興味を惹かれました。この研修会は定員100名に対して約150名もの希望者があったとのこと。“デンタルエステ”に対する関心の高さにも驚きました。

講義の中では、表情筋や咀嚼筋等についての解剖学的な知識を学び直し、筋肉の作用を理解したうえで必要な筋肉に働きかけていく大切さを再確認することができました。相互実習もあり、ドライマウスの方へのアプローチの仕方、顎関節症の方へのアプローチの仕方、患者さんや私たち自身もできるエクササイズの方法等を学びました。講義を聴くだけでは分かりづらい手の向きや力の入れ具合、指の置き方等もその場でしっかり確認しながら行うことができたので勉強になりました。最近、くいしばりや歯ぎしり、顎関節症に悩む患者さんも多いので、少しでも痛みの緩和ができればと思います。「誰のためにしているのか、何のために行うか」、自分自身も患者さんに対しても考えながら行うことが大切だということに改めて感じることができました。明日からでも診療所で実践できるようないろいろなヒントをいただいた気がします。今回の受講者がそれぞれの持ち場でこの内容を取り入れ、多くの方々の素敵な笑顔に繋がるといいなと思います。今回、貴重な機会を作っていただいたことに感謝します。

村田 彩さん（松阪）

私は今年の春から歯科衛生士になり、自身のスキルアップのために今回の研修会に参加しました。研修会は「歯科衛生士が行う口腔内外からアプローチするマッサージ方法」というテーマでした。解剖学の復習から始まり、各マッサージ法について相互実習を交えながら教えていただきました。ドライマウスや顎関節症の方に対するアプローチについて実際に相互実習を行うことで、術者側と患者側の両方を体験することができました。相互実習では先輩の歯科衛生士さんとペアを組み、マッサージしながら力加減や指の動き等、どのように施術したら相手に気持ち良く効果的に行えるか意見を出し合いながら取り組むことができ、勉強になりました。研修会で学んだ知識や手技は、自分が勤める診療所のミーティングの際に報告し、スタッフ間で情報を共有しました。まだ院内で実践したことはありませんが、来院される患者さんの中にはドライマウスの方やガムマッサージについて関心を持たれる方もいらっしゃるので、今回学んだマッサージ法について実際に施術・説明できるようにしていきたいと思います。



平成27年度

June

第3回理事会

平成27年6月4日(木)

三重県歯科医師会館

日歯臨時代議員会等について報告



6月4日(木)、第一次田所執行部として最後の定例理事会が開かれた。田所会長は日歯が5月22日(金)に開いた都道府県会長会議及び29日(金)の第178回臨時代議員会について詳しく報告。社会保障委員会からは第20回医療経済実態調査の実施、医療管理委員会からは歯科衛生士の認知度向上を

目指したインターネット広告の経過、公衆衛生委員会から今年度の「かむかむクッキングコンクール」では新たに“介護食”をテーマとすること等が報告された。また、この日は三重県歯の次期役員の出候補届け出締切日に当たり、理事18名・監事2名が当選となった。

委員会事業等報告

●社会保障委員会

【事業活動】個別指導・自主懇談、新審査員オリエンテーション、社会保険疑義事項検討会議、社保打合せ(6/7)【出席会議】東海三県社会保険実務担当者連絡協議会(5/31)【報告事項】第20回医療経済実態調査(医療機関等調査)に関する協力依頼、第20回医療経済実態調査に係る調査票等の送付(日歯)

●医療管理委員会

【事業活動】歯科助手講習会(5/14、24)【出

席会議】三重県救急医療情報センター第7回定例理事会(5/18)、第56回日本歯科医療管理学会総会・学術大会(5/30・31)【報告事項】『三歯会報』6・7月号植村顧問記事「結婚・子育て資金一括贈与の非課税制度」、税務調査アンケート、伊勢新聞特集フリーペーパー広告、Yahoo! JAPAN 広告掲載、歯科相談(5件)

●学術委員会

【出席会議】平成30年度全国高等学校総合体育大会三重県準備委員会設立総会・第1回総会

(5/15)、第15回日本スポーツ・健康づくり歯学協議会(5/30)【報告事項】研修会・講習会・医薬品関連情報(HP)、第1回学術研修会(9/13)、平成27年度東海信越地区歯科医学大会分科講演会

●福祉厚生委員会

【協議事項】乗馬クラブクレイン案内チラシの会員送付

●公衆衛生委員会

【事業活動】「歯とお口の健康づくりキャンペーン」オープニングイベント(5/30)【出席会議】三重産業保健総合支援センター平成27年度産業保健研修会(5/14)、三重県学校保健会第1回理事会、第10回三重子どものころネットワーク会議(5/24)、平成27年度第1回食支援担当者会議(5/28)、みえ摂食・嚥下リハビリテーション研究会世話人会、第15回みえ摂食・嚥下リハビリテーション研究会学術集会(5/30)【報告事項】三重県学校歯科衛生大会、キッズおしごと広場、地域医療構想への対応指針、フッ化物応用研修会、地域口腔ケアステーション設備整備事業、平成26年度郡市歯科医師会公衆衛生事業に関するアンケート調査結果、第43回産業界医学講習会(日歯)、後期高齢者歯科健診事業

【協議事項】平成27年度口腔ケア推進支援事業、フッ化物洗口推進事業、学校歯科保健指導事業、みえ歯ートネット事業における歯科保健指導、第7回かむかむクッキングコンクール、事業所歯科健診実施要綱、三重県地域口腔ケアステーションサポートマネージャー雇用事業

●広報情報委員会

【事業活動】三重テレビ『とってもワクドキ!』(5/28)、FM三重『はぴはぴ子育て』放送及び収録【報告事項】三重テレビ高校野球インフォーマーシャル、『歯科医療が支える超高齢社会ニッポン』テレビ放送(日歯)、キャンペーンソング「ユメノート」利用に関するQ&A(日歯)、歯科医療IT化検討委員会報告書(日歯)、役員名簿広告協賛【協議事項】後期高齢者歯科健診の分析

●災害時の対応・体制に関する委員会

【報告事項】SECOM登録状況(6/1現在)

●日歯委員会報告

【地域保健委員会】第1回がん診療医科歯科連携推進協議会幹事会、第1回がん診療医科歯科連携推進協議会運営管理委員会(5/27)、第4回小児歯科保健・食育部門打合せ、地域保健委員会小児歯科保健・食育部門打合せ(5/31)

その他の報告

1. 障害者歯科センター報告
2. 介護保険給付審査会報告
3. 第20回三重県歯科保健大会について
MieMuとの打合せ(5/21)

協議事項

1. 会務並びに事業の運営について
2. 三重県警察歯科医会の設立について

議題

- 第1号：第8回定時代議員会の招集に関する件
- 第2号：第8回定時代議員会第1号議案／平成26年度三重県歯科医師会会計決算の承認を求める件
- 第3号：第8回定時代議員会第2号議案／収益事業部門に於ける平成26年度分税申告に関する件
- 第4号：第8回定時代議員会第3号議案／歯科保健文化賞受賞者に関する件
- 第5号：第8回定時代議員会第4号議案／役員を選任に関する件
- 第6号：互助会給付について(5/14～6/3申請分)

第8回定時代議員会

平成27年6月25日（木）

三重県歯科医師会館

保健衛生賞表彰／26年度決算と新役員を承認



6月25日(木)、第8回定時代議員会が開かれた。田所会長の挨拶の後、議事に先立って平成26年度保健衛生賞の表彰が行われ、各受賞者の貢献が讃えられた。議事では、▽第1号議案：平成26年度会計決算の承認を求める件▽第2号議案：収益事業部門に於ける平成26年度分税申告に関する件―が滞りなく可決され、次いで第3号議案で歯科保健文化賞受賞者を津市立大里小学校とすることも承認された。第4号議案：役員を選任に関する件では、先の選挙で当選が決まっている理事18名、監事2名について決議を行い、全員が全ての代議員の賛成を得て承認された。

公益社団法人三重県歯科医師会 平成26年度保健衛生賞受賞者



田中康雄氏	桑員
谷口拓己氏	四日市
伊藤滋氏	四日市
中村務氏	鈴鹿
寺辺勝之氏	津
岩間豊氏	津
畑中嗣生氏	松阪
吉田徹士氏	松阪
伊藤知佐子氏	※伊勢
岡宗尚代氏	鳥羽志摩
松本博司氏	伊賀

※は会員外（養護教諭）

選挙管理委員会報告



選挙管理委員会の中西委員長より、次期役員選挙について、6月4日(木)に立候補の届け出を締め切ったが定数を超えなかったため、18名の理事立候補者及び監事立候補者2名が当選人となったことが報告された。また、日歯代議員選挙も同様に定数を超えなかったため、田所 泰氏(伊勢)と稲本良則氏(伊賀)が日歯代議員に、羽根司人氏(鳥羽志摩)と太田賢志氏(津)が日歯予備代議員に決定したことが併せて報告された。

報告



田所会長はまず、6月18日(木)、19日(金)の両日に開かれた日歯の第179回臨時代議員会について報告。予算決算特別委員会の詳細や代議員質問について解説するとともに、19日付で日歯より通知された日歯の新役員の顔ぶれについて報告した。

三重県の地域医療構想の策定については、県下8地域で設置される「地域医療構想調整会議」の構成員として歯科医師会が的確に関与していくこ

とが重要であるとの認識を示し、代議員にも理解を求めた。

その他、日歯の見解「在宅を専門に行う医療機関について」「選定療養として導入すべき事例を把握する仕組みの構築について」及び平成28年度制度・予算に関する要望について報告。5月に成立した医療保険制度改革関連法については、平成30年度から国保の運営主体が市町村から都道府県に移管されること等を紹介した。

また、医科と合同で運営してきた三重県警察医会が3月に解散に至ったことを受けて、新たに三重県警察歯科医会を設立することを報告。会員は警察医を委嘱された歯科医師(個人会員)と三重県歯(法人会員)によって構成される。

芝田専務理事からは27年度の事業活動及び管理部門について報告があった。

議事

- | | |
|-------|----------------------------|
| 第1号議案 | 平成26年度三重県歯科医師会会計決算の承認を求める件 |
| 第2号議案 | 収益事業部門に於ける平成26年度分税申告に関する件 |
| 第3号議案 | 歯科保健文化賞受賞者に関する件 |
| 第4号議案 | 役員の選任に関する件 |

上程された4議案は全て滞りなく可決された。

(広報情報委員・赤塚貴則 記)

平成27年度

July

第6回理事会

平成27年7月2日(木)

三重県歯科医師会館

協会けんぽと健康づくりのための協定調印へ



7月2日(木)、平成27年度第6回理事会が開かれ、新任期の県歯各委員会の初会合及び全体会議を7月16日(木)に、2年ぶりとなる県歯・郡市歯会役員連絡協議会を8月27日(木)に開催することを決定した。また、三重県民の健康づくりの推進

に向けた包括的事業連携に関して協会けんぽ三重支部と協定を締結することや、障害者歯科センターの将来的なあり方について検討する臨時委員会を設置することも承認された。

委員会事業等報告

●社会保障委員会

【事業活動】個別指導・自主懇談【報告事項】施設基準の届け出状況等の報告(7/1報告)、疑義解釈資料の送付(その14)

●医療管理委員会

【事業活動】平成27年度歯科衛生士職業説明会(6/11)、平成27年度三重県歯科医師会歯科衛生士研修会(6/21)【報告事項】平成27年度歯科医療関係者感染症予防講習会、歯科衛生士復職支援講習会、BLS講習会、院内ステッカーの配布、日本年金機構不正アクセス事案に伴う広報用チラシの配付、みずほ銀行との医療機関向け融資商品「みずほクリニックアシスト(日

本歯科医師会会員口)」の提携、平成27年度インターンシップ事業、税務調査アンケート、Yahoo! JAPAN広告掲載

●学術委員会

【報告事項】研修会・講習会・医薬品関連情報(HP)、平成27年度生涯研修セミナーの実施(日歯)、平成26年度生涯研修セミナーにおける受講者数(日歯)、平成27年度東海信越地区歯科医学大会分科講演会、「口腔病変の病理検査・診断促進に関するリーフレット」の送付と周知、新顎関節症の病態分類の学術講演への講師派遣【協議事項】地区学術研修会助成事業(四日市)、平成27年度マウスガード講習会

●公衆衛生委員会

【事業活動】みえ こどもの城親子体験教室『歯のびっくりサイエンス』(6/21) 【出席会議】三重県学校保健会評議員会(6/11)、児童相談所一時保護所入所者への歯科健診・歯科保健指導、第20回三重県歯科保健大会第2回小委員会(6/18)、第9回社会歯科学研究会総会・公開研究会集(6/21)、平成27年度歯・口の健康に関する図画・ポスターコンクール県審査(7/2) 【報告事項】『ママごはん』夏号、事業所歯科健診集計結果 【協議事項】平成27年度歯科・口腔に関するモデル事業、三重県地域口腔ケアステーション設備整備事業の選定方法等、三重県地域

口腔ケアステーションサポートマネージャー雇用事業の今後の対応

●広報情報委員会

【事業活動】FM三重『はぴはぴ子育て』放送 【報告事項】三重テレビ高校野球インフォマーシャル 【協議事項】後期高齢者歯科健診の分析、情報管理規定の見直し

●災害時の対応・体制に関する委員会

【報告事項】SECOM登録状況(6/30現在)

●日歯委員会報告

【地域保健委員会】第20回食育推進全国大会(6/20・21)、日本学校歯科医会第87回定時総会(6/30)

その他の報告

- ・ 障害者歯科センター報告

協議事項

1. 三重県歯科医師会・郡市歯科医師会役員連絡協議会の開催について
2. 第20回三重県歯科保健大会について
3. 三重県警察歯科医会の設立について
4. 三重県等への要望項目について

議題

第1号：郡市会長会議の招集並びに協議事項に関する件

第2号：第9回臨時時代議員会の招集に関する件

第3号：第9回臨時時代議員会第1号議案／議事運営特別委員会委員の選出に関する件

第4号：第9回臨時時代議員会第2号議案／選挙管理委員会委員の委嘱に関する件

第5号：第9回臨時時代議員会第3号議案／裁定審議委員会委員の委嘱に関する件

第6号：第9回臨時時代議員会第4号議案／顧問の委嘱に関する件

第7号：前任役員・代議員等の表彰について

第8号：前任委員への記念品の贈呈について

第9号：医療事故処理委員会委員の選任について

第10号：常任委員会委員の委嘱について

第11号：委員会全体会議の開催について

第12号：協会けんぽ三重支部との三重県民の健康づくりの推進に向けた包括的事業連携に関する協定の締結について

第13号：障害者歯科センター検討臨時委員会の設置及び委員の委嘱について

第14号：入会申請について／伊藤拓二郎(四日市)

第15号：互助会給付について(6/4～7/1申請分)

第16号：就業規則の一部改正について

県歯常任委員会、新メンバーを初招集

平成27年7月16日（木）

三重県歯科医師会館

7月16日(木)、第二次田所執行部の下、新たに編成された6つの常任委員会が一齐に初会合を開いた。各委員会に先立って全体会議が行われ、委員に就任した約40名が大会議室に集結。挨拶に立った田所会長は委員たちに積極的な意見発信を求め、県歯事業のさらなる活性化に期待を寄せた。引き続き稲本専務理事が委員会の概要や県歯の運営機構について説明。その後は各委員会に分かれて、実務協議をスタート。それぞれに熱心な報告・協議が行われた。

公衆衛生委員会

副会長	中井孝佳（尾鷲）	委員	久保田幸伸（亀山）
常務理事	羽根司人（鳥羽志摩）	〃	中藤健（津）
理事	福森哲也（津）	〃	大西薫児（松阪）
理事	橋本淳二（鈴鹿）	〃	右京博巳（伊勢）
理事	伊東学（四日市）	〃	中西至穂（鳥羽志摩）
委員	二之宮洋平（桑員）	〃	東千尋（尾鷲）
〃	近藤聡（四日市）	〃	前川守司（南紀）
〃	伊東信介（鈴鹿）	〃	内田準子（伊賀）

公衆衛生委員会は中井副会長の統括の下、今期も日歯・地域保健委員を務める羽根常務理事、再任の福森理事、伊東理事に新任の橋本理事を加えた体制で事業が進められる。公衆衛生委員会では、平成20年から続く児童相談所一時保護所入所者への歯科健診・歯科保健指導や昨年からは始まった後期高齢者歯科健診のサポート、地域8020運動推進協議会への参画等、委員が実働部隊として活躍する場面が多い。そのため今期は10年ぶりに11郡市会からそれぞれ委員を選出することとした。委員には、こうした県歯事業での活動に加え、県歯と郡市会の公衆衛生活動をつなぐという重要な役割も期待されている。地域包括ケアシステム構築への本格的対応も含め、当委員会の重要性はますます高まっている。



社会保障委員会

副会長	大杉和司（津）	委員	金原耕司（亀山）
理事	前田圭司（津）	〃	亀井貴彦（津）
理事	川瀬哲人（桑員）	〃	植松康明（松阪）
理事	井上博（四日市）	〃	宮本茂樹（伊勢）
理事	浜瀬太郎（松阪）	〃	谷口八起（鳥羽志摩）
委員	永田卓也（桑員）	〃	渡邊克仁（尾鷲）
〃	進士史明（四日市）	〃	中村和道（南紀）
〃	鳴神茂幹（鈴鹿）	〃	大門弘治（伊賀）

社会保障委員会は、大杉前常務理事が副会長に、稲本前理事が専務理事に異動し、執行部挙げてのバックアップが期待される体制となった。理事には3期目を迎え信頼も厚い前田理事に2期目の新鋭・井上理事、前期社保委員を務めた川瀬理事、さらに福祉厚生で1期、公衆衛生で1期理事を務めた経験豊富な浜瀬理事が加わり、行政指導対策や会員からの質問への回答、各種情報発信等、会員が安心して日々の診療に臨めるようサポートする布陣が整えられた。委員は25・26年度同様、県内全ての郡市会からそれぞれ選任され、委員長には亀井委員（津）、副委員長には宮本委員（伊勢）が就任した。各委員は郡市会との連携強化の役割や会員からの質問の窓口を担うことはもちろん、必要な情報をキャッチするアンテナの感度を高め、社会保障委員としての知識を深めながら委員会活動に当たることが期待されている。当面は9か月後に控えている28年度診療報酬改定に向けた対応が最大のテーマ。各郡市会との連携を強化し、今後も会員に有益な情報をよりタイムリーに発信していく。



医療管理委員会

副会長	早川豊治（四日市）	委員	中村優也（津）
理事	桑名良尚（津）	〃	佐田浩孝（伊勢）
理事	伊藤法彦（松阪）	〃	辻村政次郎（伊賀）
委員	佐野乃理江（四日市）		

医療管理委員会と福祉厚生委員会は新任の早川副会長が統括することとなった。医療管理委員会では桑名理事（日歯・医療管理委員も務める）と伊藤理事が揃って留任し実務に当たる。委員は佐野委員（前・公衆衛生委員）、中村委員（前・学術委員）、佐田委員、辻村委員の4名。今期は「医療管理のしおり」

「医療の安全確保の指針」（緑色のファイル）の改訂を予定している他、年々、県民からの要求も厳しくなっている院内感染対策に関する情報について講習会等を通じて積極的に会員に周知していく。またコ・デンタル対策としては、歯科助手講習会や歯科衛生士研修会はもちろん、歯科衛生士需給問題についてもより一層、力を入れる予定。休職中の歯科衛生士を掘り起こすための復職支援講習会を充実させる他、県内の歯科衛生士養成校の定員割れを防ぐため、中高生に歯科衛生士という職業の魅力や可能性を周知させるため、インターンシップやジョブシャドウイング等の取組み、広報情報委員会と連携した情報発信等もさらに工夫していきたい。税務・医院経営については、当面は来年から始まるマイナンバー制度についての情報を的確に会員に伝える予定である。



福祉厚生委員会

副会長 早川豊治（四日市）
 理事 伊藤法彦（松阪）
 委員 山下知彦（四日市）

委員 中嶋正明（津）
 " 谷宣幸（松阪）



福祉厚生委員会は今期から新たに早川副会長と伊藤理事が担当する。委員は山下委員、中嶋委員が再任、谷委員が新たに加わった。伊藤理事は今期から三齒国保組合と三齒協同組合の役員も兼務しており、県歯会員が両組合の事業を有効に活用するための企画立案や有効な情報発信が期待される。また、終身会員の交流の場である睦寿会も担当する等、会員同士の親睦が深まるよう努める役割も担う。

学術委員会

副会長 大杉和司（津）
 理事 蛭川幸史（桑員）
 委員 赤塚貴則（鈴鹿）

委員 中瀬実（津）
 " 藤川尚己（松阪）
 " 山口達也（鳥羽志摩）



学術委員会は、引き続き蛭川理事が担当。今期から大杉副会長が社会保障委員会とともに統括を行う。委員は、再任の藤川委員、前期まで広報情報委員会で活躍した中瀬委員と赤塚委員に新任の山口委員を加えた4名体制。委員長には経験豊富な中瀬委員が選ばれた。学術委員会では主に、年2回の学術研修会とSHP協議会のマウスガード講習会を担当するが、学術研修会では、会長が所信で掲げた「医療連携の推進」を踏まえた内容を

選定していくことを確認。日歯とともに、国民が安心して治療を受けられる歯科医療体制の整備を目指し、日歯や各郡市会と連携して、全ての歯科医師に必要と思われる基本的な知識の提供を行っていく。一方、三重県では今後、平成30年度全国高等学校総合体育大会、平成32年度全国中学校体育大会、第76回国民体育大会、第21回全国障害者スポーツ大会等、全国規模のスポーツ大会が相次いで開催されることになっている。これを契機に、カスタムメイドのマウスガード普及に向けた取組みも充実させる方針だ。

広報情報委員会

副会長	中井孝佳 (尾鷲)	委員	呉山章浩 (鈴鹿)
常務理事	太田賢志 (津)	〃	佐藤文仁 (津)
理事	熊谷渉 (伊勢)	〃	川村英司 (松阪)
理事	蛭川幸史 (桑員)	〃	加藤直輝 (伊勢)
委員	廣田好昭 (桑員)	〃	井上健三 (伊賀)
〃	深水陽介 (四日市)		

広報情報委員会は中井副会長の統括の下、太田常務理事・熊谷理事・蛭川理事が引き続き担当する。委員7名のうち、廣田委員・加藤委員・井上委員(委員長)の3名が続投で前期の経験を活かす。また前任者から2名が社保委員会に、2名が学術委員会に異動したため、新たに深水委員・呉山委員・佐藤委員・川村委員が加わった。委員は郡市会長会議や代議員会等の取材を担当することで、太田常務理事が中心になっている『三歯会報』の編集に参画する他、熊谷理事が活躍する対外広報についても会員の立場からの提言が求められる。また、今期は最新歯科医療実態調査が予定されており、蛭川理事の指揮の下、有益な調査の企画立案及び分析に寄与することになる。



美術品等が減価償却資産となるか否かの判定の改正について

Q：診療所の待合室用の美術品等が減価償却資産に該当するかどうかの判定が改正になったと聞きましたが、どのように改正されたのでしょうか。

A：所得税法においては、事業の用に供する減価償却資産は時の経過等によって価値が減少するので、定額法等の償却方法で法定の耐用年数による償却費を計算して、事業所得金額の計算上必要経費に算入することとされています。そして、「時の経過によりその価値の減少しない資産」は、減価償却資産に該当しないと規定されています。

償却方法は減価償却資産の取得日の属する年の税法が適用され、償却費はその資産を事業の用に供したときから必要経費に算入すると規定されています。

所得税法における「事業の用に供される美術品等」が減価償却資産に該当するかどうかの判定は、従前から国税庁の所得税基本通達2-14により取り扱われていますが、この通達が平成26年12月19日に改正されました（法人税法の取扱いも同様に改正）。

この通達においては、「時の経過によりその価値の減少しない資産（以下「非減価償却資産」といいます）」を次のとおり規定しています。

改正前（平成26年12月31日までに取得）	改正後（平成27年1月1日以後に取得）
① 古美術品、古文書、出土品、遺物等のように歴史的価値又は希少価値を有し、代替性のないもの	
② 美術関係の年鑑等に登載されている作者の制作に係る書画、彫刻、工芸品等	② ①以外の美術品で、取得価額が1点100万円以上であるもの（時の経過によりその価値が減少することが明らかなものを除きます）
③ 取得価額が1点20万円（絵画にあっては号（はがきの大きさ）当たり2万円）以上のもの	

以上のことから、平成27年1月1日以後に取得する美術品等については、取得価額が1点100万円未満のものは原則として減価償却資産に該当し、取得価額が1点100万円以上のものは原則として減価償却資産に該当しないものとして取り扱われます。

また、取得価額が1点100万円以上の美術品等であっても、「時の経過によりその価値が減少することが明らかなもの」は減価償却資産として取り扱われます。

なお、平成27年1月1日より前に取得して事業の用に供している非減価償却資産である美術品等について、改正後の取扱い（以下「再判定」といいます）により減価償却資産に該当することになった場合は、平成27年1月1日において取得し、かつ、事業の用に供したものとみなして、平成27年1月1日以後減価償却を行うこととなります。そして、再判定で減価償却資産となった美術品等の償却方法は、その美術品等の取得日を「実際の取得日」か「平成27年1月1日」のいずれかにより選択し、選択した取得日の属する年の税法を適用することとなります。この「なお書」の取扱いは、平成27年分に再判定を行った場合に限り平成27年分以後減価償却ができる取扱いであり、平成28年分以後には再判定ができませんので、ご注意ください。



6月・7月会務日誌

Association Diary

6月

- 2日 常務理事会開催
 4日 第3回理事会開催
 5日 三重県医療審議会に田所会長出席
 7日 新審査員オリエンテーション開催
 11日 三重県学校保健会評議員会に中井副会長、
 福森理事、伊東理事出席
 平成27年度歯科衛生士職業説明会開催
 17日 平成27年度第1回三重県地域医療介護総合
 確保懇話会に田所会長出席
 18日 第20回三重県歯科保健大会第2回小委員会
 開催
 18・19日 日本歯科医師会第179回臨時時代議員会
 に田所会長、芝田専務理事出席
 21日 平成27年度三重県歯科医師会歯科衛生士研
 修会、議事運営特別委員会開催
 第9回社会歯科学研究会総会・公開研究集
 会が開催され中井副会長出席
 24日 8020推進財団第9回評議員会に田所会長出席
 25日 第8回定時代議員会、第4回理事会開催
 26日 みえ伊勢志摩サミット県民会議に田所会長
 出席
 28日 常務理事会、第5回理事会開催
 30日 日本学校歯科医会第87回定時総会に羽根常
 務理事出席

7月

- 2日 平成27年度歯・口の健康に関する図画・ポ
 スターコンクール県審査、第6回理事会開催
 9日 在宅要介護高齢者への訪問健診等に関する
 モデル事業に関する打合せに田所会長、中
 井副会長、羽根常務理事出席
 14日 三重県准看護師試験委員会に太田常務理事
 出席
 16日 協会けんぽ三重支部との調印式、委員会全
 体会議、平成27年度歯と口の健康週間各事
 業県審査、児童相談所一時保護所入所者へ
 の歯科健診・歯科保健指導打合せ開催
 18日 東海信越地区歯科医師会専務理事連絡協議
 会が岐阜県で開催され稲本専務理事出席
 18・19日 平成27年度日本体育協会公認スポー
 ツ
 デンティスト養成講習会（スポーツ歯科医
 学I）が開催され蛭川理事出席
 22日 平成27年度第1回三重県保険者協議会、第
 7回三重県経済懇談会に田所会長出席
 平成27年度准看護師試験問題の確認作業に
 太田常務理事出席
 23日 第20回三重県歯科保健大会第2回実行委員
 会、社保・国保審査委員会（歯科）歯科医
 師会連絡協議会開催
 26日 三重県警察歯科医会設立総会、三重県警察
 医研修会に警察医出席
 27日 第76回国民体育大会三重県準備委員会第6
 回常任委員会及び第4回総会に田所会長出
 席
 29日 新型インフルエンザ等対策に関する指定地
 方公共機関担当者会議に桑名理事出席
 30日 第8回みえ歯ートネット運営協議会、第2
 回郡市会長会議、第9回臨時時代議員会開催



会員消息 Member's News

本会会員数 (8月1日現在)

正会員第1種 (一般)	701名
正会員第2種 (勤務)	26名
正会員終身	132名
準会員第3種 (法人)	8名
準会員第4種 (直属)	2名
長期の疾病等の会員	1名
計	870名

日歯会員数 65,142名 (6月30日現在)

新入会員



いとうたくじろう
伊藤拓二郎先生 (7. 1付)
診四日市市沖の島町1-18
菅谷歯科医院
電話 059-352-3814
FAX 059-352-3815
(四日市)

診療所廃止

佐々木 浩先生 (伊賀)

謹んでおくやみ申し上げます



伊藤武則先生 (亀山)
去る6月7日、お亡くなりになりました。
享年73歳



吉田利夫先生 (松阪)
去る6月12日、お亡くなりになりました。
享年87歳

診療所所在地変更

鈴木健夫先生 (四日市)
四日市市浜田町7-13-2

三重県歯科医師協同組合

購入希望の組合員の方は、当組合宛にお申し込み下さい。

三重県歯科医師協同組合ホームページからオンラインでも購入できます。

歯科経理帳	(12か月分)	950円
収支日計表	(100枚綴)	620円
患者日計表	(100枚綴)	620円
領収書	(100枚綴)	470円
その他、保険診療情報提供文書各種等		



新入会員プロフィール

Rookie's Profile

いとうたくじろう
伊藤拓二郎先生（四日市）

1. 学歴

高校 私立東海高等学校
大学 愛知学院大学歯学部
(平成12年度卒業)

2. 卒業後の研修先・勤務先

平成13年4月 愛知学院大学臨床研修医
平成14年4月 愛知学院大学歯科矯正学講座
平成16年4月 丹羽歯科（愛知県一宮市）
平成17年8月 菅谷歯科医院（四日市市）

3. 開業（開設者等変更）年月日

平成26年12月10日

4. メッセージ

四日市市役所前に菅谷歯科医院は位置しています。初代院長、菅谷直次が約80年前に開業し、その後息子の菅谷直洋が継ぎました。今回三代目として義理の息子である私が継承

し、これを機に入会させていただきました。古くから四日市市沖の島町の地域医療を担ってきた医院で治療できることを嬉しく思い、一層、勉強に励みたいと思っています。

自宅は診療室の上であり、普段はなかなか家を出ないため、休みの日はよく地元の鈴鹿山脈を家族で歩いております。仕事で大変細かい治療を行っていることもあり、登山を通じ大自然に触れ体で感じる事がとても良い気分転換になります。

若輩者ですが、これからは歯科医師会を通じて多くの先生方に色々なことを学ばせていただき、会員としての役割も果たしていきたいと思っておりますので、どうぞ指導の程宜しくお願い致します。



障害者歯科センター診療状況

6月

診療日	7日
診療担当者	常勤1名、非常勤6名 内訳・会員2名、大学4名
延患者数	108名

7月

診療日	8日
診療担当者	常勤1名、非常勤6名 内訳・会員2名、大学4名
延患者数	149名



告知板

Information

医科・歯科連携推進人材養成研修会の開催について

三重大学医学部口腔・顎顔面外科学教授 新井 直也
 三重大学医学部附属病院がんセンター長 中瀬 一則
 伊勢赤十字病院歯科口腔外科部長 野村 城二

県では、がん対策を総合的に推進するために「三重県がん対策戦略プラン」を策定し、その中でがん治療における医科・歯科連携を推奨しています。このたび、県の医科・歯科連携推進人材養成事業の一環として、「医科・歯科連携推進人材養成研修会」を開催する運びとなりました。全4回を予定しており、初回は本年9月に下記のごとく開催いたします。日常口腔ケアに携わっている関係者の方々、今後行っていくことを予定されている方々に、ぜひご参加いただきますようご案内申し上げます。

記

第1回 病院内で行う周(手)術期の口腔ケア

- 1) 開催日時：平成27年9月19日(土) 13時より(16時終了予定)
- 2) 会場：ホテルグリーンパーク津
- 3) 参加資格：口腔ケアに携わる(予定のある)関係者等
- 4) 参加費：無料
- 5) 申し込み先：施設ごとで参加人数、職種を明記したうえFAX、E-mailにてお申し込み下さい。

※事前に質問等を記入していただければ、研修会の質疑応答セッションで回答いたします。

事務担当者：三重大学医学部附属病院がんセンター 河村

TEL 059-231-5055 / FAX 059-231-5348

E-mail gan-center@mo.medic.mie-u.ac.jp

研修会予定

	開催日	場 所	テーマ
第1回	平成27年9月19日	ホテルグリーンパーク津	病院内で行う周(手)術期の口腔ケア
第2回	平成28年2月予定	伊勢赤十字病院	病院内で行う抗がん剤・放射線治療時の口腔ケア
第3回	平成28年6月予定	未定	未定
第4回	平成29年1月予定	未定	未定



日本口腔インプラント学会第36回中部支部・学術大会 『多角視したインプラント治療 ～顎位を再考する～』

会 期：2015年（平成27年）11月14日（土）・15日（日）

会 場：ウインクあいち（愛知県産業労働センター）

〒450-0002 愛知県名古屋市中村区名駅4丁目4-38

TEL：052-571-6131 FAX：052-571-6132

11月14日（土）

◎専門医教育講座

公益社団法人日本口腔インプラント学会専門医・指導医

宗像 源博（神奈川県川崎市立病院口腔インプラントセンター）

「インプラント周囲炎～リスクファクターと対策法を考える～」

11月15日（日）

◎専門歯科衛生士教育講座

公益社団法人日本口腔インプラント学会認定専門歯科衛生士

石原 美樹（フリーランス）

「インプラント治療前における歯科衛生士の役割を考える」

～情報提供・サポート・教育・口腔管理～

◎専門歯科技工士教育講座

公益社団法人日本口腔インプラント学会認定専門歯科技工士

平塚 敏隆（成田デンタル特殊技術課 La cima八重洲）

「明日から使える技工術式のヒント」

◎特別講演

日本矯正歯科学会専門医

池田 和己（ヒルサイドビュー矯正歯科）

「顎位を学ぼう」

◎一般口演

【お問い合わせ先】

《大会事務局》

もみの木歯科 村田幸一郎

〒515-0002 三重県松阪市郷津町151-7

TEL：0598-50-0150 FAX：0598-50-0155

E-mail：chubu.implant36th@gmail.com



互助会の現況 Mutual Aid Association

(27年6月1日～30日)

第1部 (疾病共済)

入会	0名	退会	1名	累計	736名
収入累計	183,122,853円	繰越 183,119,103円 入金 3,750円			
支出	1,500,000円				
残高	181,622,853円	定期 138,000,000円 普通 43,622,853円 国債 0円			

療養給付：2名

死亡給付：1名

第2部 (火災・災害共済)

入会	0名	退会	1名	累計	744名
収入累計	158,861,422円	繰越 158,861,422円 入金 0円			
支出	0円				
残高	158,861,422円	定期 110,690,000円 普通 48,171,422円			

(27年7月1日～31日)

第1部 (疾病共済)

入会	0名	退会	0名	累計	736名
収入累計	200,266,353円	繰越 181,622,853円 入金 18,643,500円			
支出	1,680,000円				
残高	198,586,353円	定期 138,000,000円 普通 60,586,353円 国債 0円			

療養給付：3名

死亡給付：1名

第2部 (火災・災害共済)

入会	0名	退会	0名	累計	744名
収入累計	160,833,922円	繰越 158,861,422円 入金 1,972,500円			
支出	0円				
残高	160,833,922円	定期 110,690,000円 普通 50,143,922円			

平成27年2月診療分歯科診療報酬状況 (三重県)

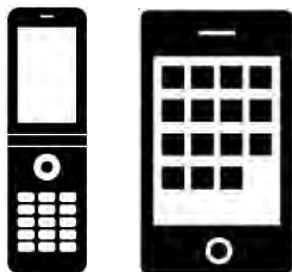
		社会保険			国民保険		
		1件当 日数	1日当 点数	1件当 点数	1件当 日数	1日当 点数	1件当 点数
一般	本人	1.7	648.4	1,100.4	1.8	641.1	1,141.6
	家族	1.5	600.2	925.4			
後期高齢者医療		—	—	—	1.9	683.4	1,296.8

平成27年3月診療分歯科診療報酬状況 (三重県)

		社会保険			国民保険		
		1件当 日数	1日当 点数	1件当 点数	1件当 日数	1日当 点数	1件当 点数
一般	本人	1.7	645.5	1,123.5	1.8	645.8	1,194.4
	家族	1.6	605.2	951.4			
後期高齢者医療		—	—	—	2.0	688.9	1,361.7

◎三重県歯科医師会会員の皆様へ

いざという時、スマホや携帯で安否情報を伝える！



三重県歯科医師会では大規模災害発生に備えた安否確認システムを導入しています。登録のご協力をお願いします。

三重県歯科医師会では、大規模災害発生時に会員と本会及び各郡市歯科医師会との連絡手段の一つとして、(株)セコムトラストシステムズが提供する「安否確認サービス (e革新きずな)」を導入しています。このシステムは、メールやWeb、音声電話を利用する双方向の情報伝達・集計システムで、自然災害や新型インフルエンザによるパンデミック等の緊急事態が発生した場合に、「会員・家族の安否確認」や「対策要員の緊急招集」「安否確認後の行動指示」等、初動対応の迅速・効率化に活用されるものです。システムの運用に当たっては、会員の皆様にメールアドレスをご自身で登録していただくことが必要になりますので、ご協力をよろしくお願いします。

登録方法等は三重県歯公式ウェブサイト会員用ページに掲載されていますが、ご不明な点等がございましたら三重県歯科医師会事務局 (TEL : 059-227-6488) までお問い合わせ下さい。

三重県歯科医師会メールマガジンをご登録下さい



三重県歯科医師会では、会員配布物の「E-MAIL配信登録」を行っています。このシステムは登録者ごとに専用のメールアドレスを割り当て、冊子やポスターを除くほとんどの文書をデータ配信するものです。E-MAIL配信登録者には、併せてメールマガジン (メルマガ) も配信されています。メルマガは毎週水曜日に配信され、三重県歯科医師会事業の最新情報や月間スケジュール、ウェブサイトの更新情報、学術関連情報、さらに毎月の歯科関連ニュースをまとめた「News Clip」等をお届けしています。

E-MAIL配信の登録方法は三重県歯公式ウェブサイト会員用ページをご参照いただくか、三重県歯科医師会事務局 (TEL : 059-227-6488) までお問い合わせ下さい。また、一度登録してもパソコンの買替時等にメールソフトでのアカウントの移行が行われていないとメルマガが配信されなくなる場合があります。もし、メルマガが届かなくなっている場合には、ご使用のパソコンの設定をご確認下さい。

三重県歯科医師 国民健康保険組合

MIE DENTIST NATIONAL HEALTH INSURANCE UNION

役員改選：武田良一理事長、続投で3期目へ

役員名簿



武田良一理事長



中井孝佳副理事長



伊藤法彦
法令遵守担当理事

役 職	氏 名	
理 事 長	武田良一	(伊 賀)
副理事長	中井孝佳	(尾 鷲)
常務理事	稲本良則	(伊 賀)
常務理事	熊谷 涉	(伊勢度会)
理 事	前田圭司	(津)
理 事	伊藤法彦	(松 阪)
監 事	宮田 保	(桑 員)
監 事	寺辺勝之	(津)

任期満了に伴う三重県歯科医師国保組合の役員改選については、6月25日(木)に開かれた第139回臨時組合会で審議され、3期目となる武田良一理事長の続投が決定。その他の役員は武田理事長に一任され中井副理事長以下、5名が選任された。法令遵守については新たに伊藤法彦理事が担当する。

7月2日(木)には新役員による初めての理事会が開かれ、熊谷常務理事から6月に大阪で開かれた全協の第65回通常総会について、前田理事から被保険者の異動状況・収支状況についてそれぞれ報告があり、伊藤理事は当組合が23年に定めた法令遵守(コンプライアンス)体制の整備に関する基本方針について改めて説明した。

第139回臨時組合会／国庫補助の引下げについて報告



6月25日(木)、第139回臨時組合会が開かれた。武田理事長は冒頭の挨拶の中で、5月に医療保険制度改革関連法が成立したことにより、国保組合に対する国庫補助が平成28年度より5年をかけて段階的に引き下げられる旨を報告した。役員を選任に関する議案では3期目となる武田良一理事長(伊賀)の続投が決定。監事には立候補により宮田保氏(桑員)が、推薦により寺辺勝之氏(津)が選任された。

MIE DENTIST NATIONAL HEALTH INSURANCE UNION

平成27年4月／5月

現況

保険給付状況

27年4月

		件数	費用額	保険者負担額
療養給付費	当月分	3,635	54,768,952	38,813,723
	累計	3,635	54,768,952	38,813,723
療養費	当月分	95		494,963
	累計	95		494,963
高額療養費	当月分	26		4,064,457
	累計	26		4,064,457
移送費	当月分	—		—
	累計	—		—
出産育児一時金	当月分	7		2,940,000
	累計	7		2,940,000
葬祭費	当月分	1		150,000
	累計	1		150,000
食事療養標準負担額減額差額	当月分	—		—
	累計	—		—
傷病手当金	当月分	19		838,000
	累計	19		838,000

27年5月

		件数	費用額	保険者負担額
療養給付費	当月分	3,299	38,769,634	27,447,537
	累計	6,934	93,538,586	66,261,260
療養費	当月分	121		444,681
	累計	216		939,644
高額療養費	当月分	32		2,381,199
	累計	58		6,445,656
移送費	当月分	—		—
	累計	—		—
出産育児一時金	当月分	2		840,000
	累計	9		3,780,000
葬祭費	当月分	—		—
	累計	1		150,000
食事療養標準負担額減額差額	当月分	3		112,080
	累計	3		112,080
傷病手当金	当月分	16		889,000
	累計	35		1,727,000

収支状況

27年度27年5月累計

区分	金額
歳入合計	214,365,928
歳出合計	29,735,282
収支差引残高	184,630,646

27年度27年6月累計

区分	金額
歳入合計	471,472,031
歳出合計	132,794,216
収支差引残高	338,677,815

26年度27年5月累計

区分	金額
歳入合計	1,264,007,246
歳出合計	1,154,199,212
収支差引残高	109,808,034

被保険者異動状況

27年6月30日現在

区分	被保険者数	前月との比較
組合員	2,727	△ 7
家族	1,609	△ 3
計	4,336	△ 10

27年7月31日現在

区分	被保険者数	前月との比較
組合員	2,740	13
家族	1,605	△ 4
計	4,345	9

三重県歯科医師 協同組合

MIE DENTIST COOPERATIVE UNION

役員改選：武田良一理事長が3期目の理事長に就任



武田良一理事長



東惣一郎副理事長



大杉和司副理事長

役員名簿

役 職	氏 名	
理 事 長	武田良一	(伊 賀)
副理事長	東惣一郎	(松 阪)
副理事長	大杉和司	(津)
専務理事	稲本良則	(伊 賀)
常務理事	熊谷 涉	(伊勢度会)
理 事	遠藤直樹	(伊 賀)
理 事	蛭川幸史	(桑 員)
理 事	桑名良尚	(津)
理 事	伊藤法彦	(松 阪)
監 事	宮田 保	(桑 員)
監 事	寺辺勝之	(津)

任期満了に伴う三重県歯科医師協同組合の役員改選については6月25日(木)の第88回通常総代会で審議され、武田良一理事長、東惣一郎副理事長の続投の他、大杉和司副理事長、稲本良則専務理事、熊谷 涉常務理事らの就任が決まった。

第88回通常総代会／26年度決算を承認、新役員を選任



6月25日(木)、第88回通常総代会が開かれた。武田理事長は挨拶の中で、ホームページにおける

バナー広告の現況や歯科用金属の斡旋販売実績を報告するとともに、今年度からの新たな事業として、株式会社レオパレス21と積水ハウスの特典を紹介した。報告事項では、平成26年度協同組合事業及び株式会社エムディ決算についての報告に続き、▽平成26年度決算関係書類承認▽平成26年度労働保険事務組合特別会計決算関係書類承認並びに剰余金処分▽平成26年度剰余金処分一等が承認された他、役員改選に関する件についても審議が行われ、3期目となる武田理事長の続投が決定した。

MIE DENTIST COOPERATIVE UNION

編集後記

Editor's Note

電子レセプト請求が義務化される等、歯科医療を取り巻く環境はすでにICT (Information and Communication Technology) で溢れていますが、さらに政府は、電子カルテや健診データ等の医療情報を利活用するための法整備を進めています。

一方、来年1月からは税務・社会保障・災害等、様々な分野に関わるマイナンバー制度がスタートします。ビッグデータの利活用では「匿名化したデータ」を使用するとされていますが、各データ

の突き合わせにより、個人を特定できる可能性は高く、情報漏洩が危惧されるところです。

私たちは雇用主として、従業員やその扶養家族の個人番号等を外部に漏らさないよう、徹底したセキュリティ強化とデータ管理に対する細心の注意が求められますが、デジタルデータの特性を考えれば、情報が漏洩することを前提にしたリスク管理体制を検討する必要があるかもしれません。

(理事・蛭川幸史 記)

三重県歯科医師会無料職業紹介所について

三重県歯科医師会では厚生労働大臣の許可を受けて、歯科医療技術者（歯科医師・歯科技工士・歯科衛生士・歯科助手）を対象とした無料職業紹介事業を行っています。職業紹介を希望される場合、求職は働く意欲がある方なら常勤、パートを問いません。申し込みにより希望と能力に応ずる職業に速やかに就くことができるよう極力お世話をいたします。

●求職者の場合

- ・ 所定の求職票に必要事項を記入し、下記の無料職業紹介所に提出する。
- ・ 来館または電話にて、求人者の閲覧をする。
- ・ 条件が合えば面接を行う。

●求人者の場合

- ・ 所定の求人申込書に必要事項を記入し、下記の無料職業紹介所に提出する。
- ・ 来館または電話にて、条件の合った求職者を探す。
- ・ 合否結果については、当紹介所に結果報告する。



※ 下記へ連絡いただければ関係書類を送付します。

公益社団法人 三重県歯科医師会
 歯科医療技術者等無料職業紹介所
 〒514-0003 津市桜橋2丁目120-2
 TEL 059-227-6480

詳しくはWEBで！

[検索](#) [三重県歯科医師会無料職業紹介所](#)

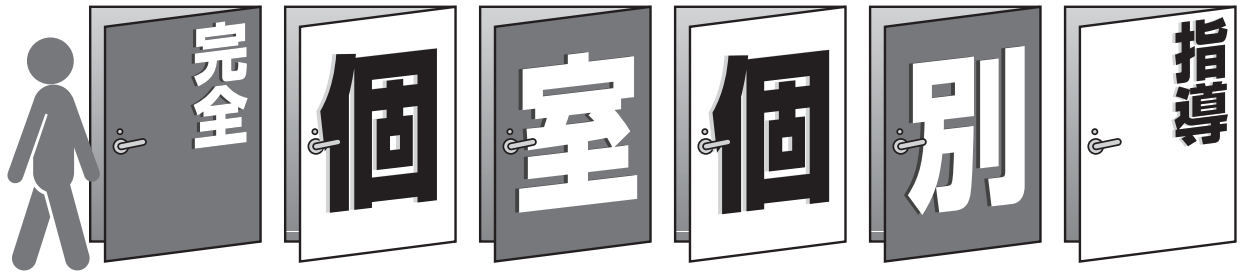
医療従事者 (歯科衛生士・歯科技工士) 賠償責任保険のご案内

—賠償責任保険普通保険約款 医療従事者特約条項—



この保険の特長

- ①皆さまが経営する歯科診療所に勤務される医療従事者の方(歯科衛生士・歯科技工士)全員が補償の対象となります。(一部の医療従事者のみを補償の対象とすることはできません。)
- ②過去に退職された医療従事者の方も対象となります。
- ③補償の対象となる医療従事者の方の署名・捺印などが不要です。
- ④医療従事者の方の入れ替わりの手続き(保険期間中途での通知等)が不要です。
- ⑤ご加入いただいた歯科診療所の業務を遂行することによって発生した事故のみお支払いの対象となります。
- ⑥法律上の損害賠償金のほか弁護士費用や訴訟費用を補償します。



生徒募集中

名古屋の歯学部専門予備校。
プロ講師が基礎から分かりやすく指導します。

卒試&国試 集中対策講座

(6年生・卒業生限定)

大手予備校では不可能な完全個室個別指導。
弱点を徹底攻略することが合格への道です。

後期テスト準備講座

(現役生対象)

留年してからでは遅い。早めの対策が必要です。



講師募集中

歯学部の学生対象の
進級支援、国試対策指導

- 歯科医師国家資格の保持者限定
(大学院生、現役の歯科医、研究者など)
- 時間は講師の先生の時間に合わせることができます。
電話でお問い合わせください TEL052-220-5446

歯科医師国家試験・進級支援予備校

デンタル国進

〒460-0003
名古屋市中区錦2-19-11
綿常HD長者町ビル5F
〈伏見駅 地下街E出口より徒歩1分〉
TEL.052-220-5445

URL <http://dentalkokushin.jp/>

デンタル国進

検索

アルジネート印象材 アルフィーナネオ[®]

親水性と軽い練り感
お試しください。この素早い練和感。

1. 長期保存安定性をさらに高めました。
2. 安心できる寒天との連合印象採得。
3. スピーディーに安定したゲル化体を形成、精密な印象採得ができます。



●NORMAL SET (ノーマルセット)

●FAST SET (ファースト)

●SLOW SET (スロウ)

●5kg(1kg×5) 標準価格¥21,000(税別)
●承認番号:224AFBZX00128000



●NORMAL SET (ノーマル)

子どもや高齢者にも好評のストロベリー

製造販売元

睦化学工業株式会社 お問い合わせホットライン▶059-333-1611▶歯科材料サービス係
〒510-0804 三重県四日市市方古町8-9 TEL 059-331-2354(代) FAX 059-331-1044 URL http://www.mutsumikagaku.co.jp

いつもリサイクルの
最先端に
私たちはいます。

純金積立(ゴールドクラブ)

横浜金属ゴールドクラブで
純金積立をしませんか?



ジュエリー買取り

貴金属精錬業だからこそ
どこよりも高値買取り致します。

歯科材料リサイクル

歯科医院・技工所様から発生する歯科材
スクラップを回収・買取りいたします。

インターネット特典

ホームページをご覧になられたお客様

精錬基本料金を
無料サービス

納期
20日以内の
お支払い



YOKOHAMA METAL CO., LTD.

横浜金属商事株式会社

【横浜金属グループ】

本社/〒252-0132 神奈川県相模原市緑区橋本台3-5-2 峡の原工業団地内
Tel:042-774-5481 Fax:042-773-7266
本社 仙台・埼玉・東京・名古屋・大阪・広島・福岡・札幌(営)・函館(営)・釧路(営)・
北陸(営)・四国(営)

☎ 0120-14-4580

- 日本経済団体連合会会員
- 一般社団法人 金地金流通協会正会員
- 株東京工業品取引所 銀地金受渡供用品指定ブランド
- 株東京工業品取引所 銀地金指定鑑定業者
- L.M.E(ロンドン金属取引所)銀地金公認ブランド
- JIS 日本工業規格表示認可工場
- ISO 9001 認証取得(横浜金属株)
- ISO 14001 認証取得(横浜金属商事株環境R部)

横浜金属グループは貴金属リサイクルを通じて地球環境の保全に貢献しています。

2014年9月、 「損保ジャパン日本興亜」誕生!



損保ジャパン日本興亜

「株式会社損害保険ジャパン」と「日本興亜損害保険株式会社」は合併し、
「損害保険ジャパン日本興亜株式会社(略称:損保ジャパン日本興亜)」として、
2014年9月1日から新たなスタートをきりました。
私たちのこれからの取り組みに、どうぞご期待ください。

損害保険ジャパン日本興亜株式会社

三重支店 津支社
〒514-0004 三重県津市栄町 3-115
Tel.059(226)3011 <http://www.sjnk.co.jp>

会員好評受付中!

mint

三重インターネットサービス

ブロードバンドが未来をひろく!
mintはインターネットをトータルにサポートします。

<http://www.mint.or.jp/>

お問い合わせは

MDT 三重データ通信株式会社

TEL : 059-223-1818

E-Mail : mint@mint.or.jp

Thinking ahead. Focused on life.



Soaric

人を大切にしたデザインとテクノロジーから生まれました

The New PdW Style

直感的で自然な動作での診療を可能にする、先進のトレーシステム。ユニットへの組み込みが可能な、マイクロスコープと根管長測定機器。小型ボディに根管治療機能が搭載された、新開発マイクロモーター。そのディテールに至るまで一貫して表現された、洗練のデザイン。



発売 株式会社 **モリタ** 大阪本社: 大阪府吹田市垂水町3-33-18 〒564-8650 TEL 06-6380-2525 東京本社: 東京都台東区上野2-11-15 〒110-8513 TEL 03-3834-6161
製造販売・製造 株式会社 **モリタ製作所** 本社工場: 京都府京都市伏見区東浜南町680 〒612-8533 TEL 075-611-2141 久御山工場: 京都府久世郡久御山町市田新珠城190 〒613-0022 TEL 0774-43-7594
販売名: ソアリック 標準価格: 4,543,000円~(消費税別途) 2013年1月21日現在 一般的名称: 歯科用ユニット 機器の分類: 管理医療機器(クラスII) 特定保守管理医療機器 医療機器認証番号: 222ACBZX00016000
www.dental-plaza.com